

7型モニター一体型
SDカードレコーダー
(映像・音声1入力、AHD2.0)

DVF-7AHD

取扱説明書(保証書付)

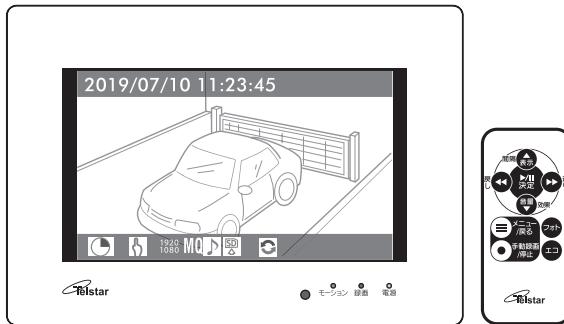
はじめる手順

基本の操作

設定を変更する

必要に応じて

困ったら



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

最新の取扱説明書は弊社ホームページでご確認いただけます。

[http://www.corona-dengyo.co.jp/
download/manual_telstar.html](http://www.corona-dengyo.co.jp/download/manual_telstar.html)

※本書ではSD・SDHC・SDXCカードを
「SDカード」と記載しています。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について



警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。



してはいけない内容です



実行しなければならない内容です

警告



■ 水をかけたり、ぬらしたりしない
火災、感電、けがの原因になります。



■ 分解・改造・修理はしない
火災、感電の原因になります。



■ 異常な状態で使用しない
(発熱、発火、発煙、異臭、異音がするなど)火災、感電の原因になります。
すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



■ 電源プラグやACアダプター、コードなどに水をかけたりしない
感電の原因になります。
ぬれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



■ 電源プラグやACアダプター、コードなどを破損しない
(傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど)傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。
電源プラグやACアダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。



■ 雷が鳴ったら本体や電源プラグ、ACアダプターに触れない
感電の原因になります。



■ 异物が入ったときは使用を中止する

そのまま使用すると火災、感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



■ 落としたり、破損したときは使用を中止する

そのまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



■ 電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



■ 電源プラグやACアダプターのほこりは定期的にとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。

プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

△ 注意

- | | |
|---|--|
| <p> ■ 不安定な場所や振動の多い場所には設置しない
(ぐらつき、傾きのある場所)落下などにより破損やけがの原因となります。</p> <p> ■ 湿気の多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない
(風呂場、台所や水まわりなど)
結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。</p> <p> ■ 高温になる場所に設置しない
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボード、ヒーターなど熱器具の近くなど)機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。</p> <p> ■ 埃の多い場所に設置しない
火災、感電の原因になります。</p> | <p> ■ 機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない
落下などにより破損やけがの原因となります。</p> <p> ■ コードを引っ張らない
電源プラグやACアダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p> <p> ■ 機器の重量などを満たす強度で設置する
落下などにより破損やけがの原因となります。</p> <p> ■ 取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る
感電の原因となります。</p> |
|---|--|

免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物などへの損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、

第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中止・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

プライバシー、肖像権について

防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されない」という法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権

は、「みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

液晶モニターについて

画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)や、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

画面の焼き付きを防ぐ為、必要に応じて本機のモニター ON / OFF ボタンでモニター表示を OFF にしてください。

記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保証、それに付随するあらゆる損害について、弊社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。またいかなる場合においても弊社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

はじめに

本書のみかた

この説明書ではライブ画面から設定を開始し、ライブ画面に戻るまでの設定方法を手順を追って説明しています。設定で使うボタン（リモコンおよび本体）のイラストと説明文、操作画面で解説、補足説明を「おしらせ」に、注意事項を「ご注意」に、設定例を「例」として記載しています。

設定を変更する

日時の設定をする

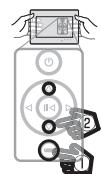


日時設定

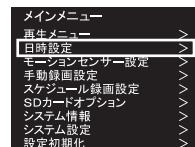
内蔵時計の日付と時間の設定をします。

※設定の前に録画を停止します。

- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「日時設定」を白枠で選択します



- ①「メニュー/戻る」ボタンを押す ↓
「メインメニュー」が表示
- ②「▲」「▼」ボタンを押す ↓
「日時設定」を白枠で選択



お知らせ

設定は「左・右」ボタンを押し、数値を変更した時点から更新されます。「秒」を合わせる場合は時報のタイミングに合わせて「◀」「▶」ボタンを押します。

ご注意

パソコンへコピーした録画データ(二次データ)を、再びSDカードへ戻さないでください。録画データは日付によって管理されています。SDカードに一次データと三次データが混在しない



例

①▼ボタンを押すと5日以降を見ることが可能。2018年7月11日を選択(②ファイル数116個)。③3ページのうち2ページ目にいます。④通常録画のファイルを選択⑤ファイル番号は78⑥録画された時刻は8時36分52秒

特長

- 本機は、H.264映像コーデックおよびG711/32kbpsオーディオコーデックを搭載しています。映像、音声とともに1チャンネルの録画録音再生をすることができます。
- 映像、音声は、AVIファイル形式でSDカードに直接記録されます。簡単にお手持ちのパソコンへデータをコピーすることができ、一般的なメディアプレーヤーで再生することができます。
※メディアプレーヤー12推奨。
- 16 GB の SD カード(付属)でAHD2.0カメラの映像を約22時間分録ることができます。
手動録画:
解像度 1920×1080/
フレームレート 10FPS/
画質 MQ標準(工場出荷時設定)
※ただし録画する内容によって録画時間は大幅に変動します。
- スケジュール録画の初期設定では「スケジュール設定」をONにするだけで「通常録画」で全時間帯を低画質低フレーム(データ容量を節約)で録画し、検知があった場合は「モーション録画」に切り替え高画質高フレームのきれいな映像で録画する優れた録画機能を備えています。
- モーション録画では、検知エリアと検知感度レベルの設定ができます。また、モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録する「プレ録画」が設定できます。
※「☆全て有効」では作動しません。
- モーション録画検知時に「警告音」を鳴らすことができます。「チャイム・ベル・鳥のさえずり」から選択できます。警告音を鳴らさない設定も可能です。
- エコモード時は消費電力を約60%低減します(消費電力最大時と比較した場合)。

注意事項

- カメラの機種や撮影環境により検知の反応が弱くまたは強くなる場合があります。事前に試し撮りをしてください。
- 記録データの確認作業はデータ量が膨大になるため、パソコンでの確認をおすすめします。再生操作中は録画ができません。
- 録画中(LED点灯)にACアダプターをコンセントから抜かないでください。動画ファイルが損傷したり本体が誤動作する場合があります。

目次

はじめに

安全上のご注意	02
本書のみかた	04
特長	05
目次	06

はじめる手順

1 内容品の確認	08
2 機器の準備	10
3 リモコンの準備をする	11
4 カメラを接続する	12
5 主電源を入れる	13
6 カメラの映像（ライブ画面）を見る	13
7 SD カードを使用可能な状態にする	14
8 日時の設定をする	15
9 録画を開始する	16
10 録った映像を見る（再生する）	18
11 保護シートをはがす	19
12 主電源を切る	19

基本の操作

各部の名称	20
ボタン操作について	22
モードと画面表示	23
フォトモード（スライドショー）	24
エコモード（モニター非表示）	25
レコーダーモード	26
カメラ設定（UTC）モード	28
再生画面の操作	30
一覧から選択して再生する	32
パソコンで再生する	34

設定を変更する

日時の設定をする	38
モーションセンサー設定（エリア設定）	40

モーションセンサー設定（感度設定）	46
手動録画の設定	50
スケジュール録画設定（スケジュール設定）	52
スケジュール録画設定（モーション録画設定）	54
スケジュール録画設定（通常録画設定）	56
必要に応じて	
SDカードオプション	58
ファームウェアを更新する	62
システム設定	64
工場出荷時の設定に戻す	66
主な工場出荷時設定	68
リモコンの電池交換	69
本機を液晶テレビ（市販）と接続する	70
スライドショーの準備	71
録画日数の目安	72
困ったら	
仕様	73
故障かな?と思ったら	74
Q&A	84
カメラのメニューが消えない時	87
保証書	裏表紙

『はじめる手順』から はじめましょう。 ➡ 08 ⇩



出かける前に録画して
帰ったら再生したい

『手動録画』ボタンで録画開始、
『クイック再生』ボタンで直前の
様子がチェックできます。



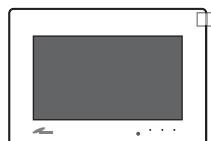
これって故障?
どうしたらしいの?

何か困った時は
『故障かな?と思ったら』で
症状が改善するかも…

1 内容品の確認

内容品をご確認ください。
※不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- レコーダー本体×1



- スタンド×1



- 映像/音声入力ケーブル
(ケーブル長約1.5m) ×1



- ACアダプター
(ケーブル長約1.5m) ×1



- リモコン



- SDカード



- 取扱説明書
(保証書含む)



2 機器の準備

ステップ
1

スタンドを
取り付ける

→ 09 ↴



ステップ
2

SDカード(付属)を
入れる

→ 10 ↴



ステップ
3

映像・音声入力
ケーブルを
接続する

カメラへ ←
ケーブル

→ 11 ↴

ステップ
4

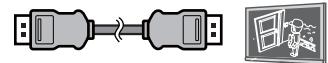
ACアダプター
を接続する



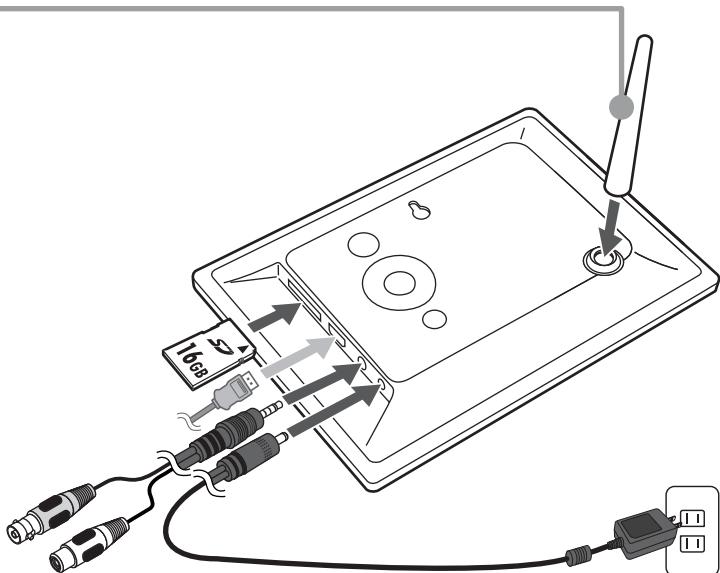
→ 11 ↴ → コンセントに接続

オプション

HDMIケーブル(市販)
で液晶テレビに接続する



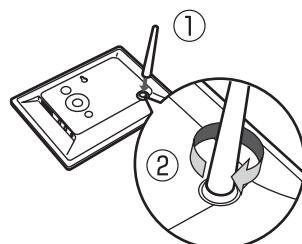
→ 70 ↴ → 液晶テレビに接続



ステップ 1 スタンドの取り付け

卓上設置(横置き)するためのスタンドを取り付けます。※縦置きには対応していません。

- ① 本機の背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込みます。
- ② スタンドが回らなくなるまでしっかりとねじ込みます。



※壁掛け用穴(径8mm)にて壁掛け設置が可能です。

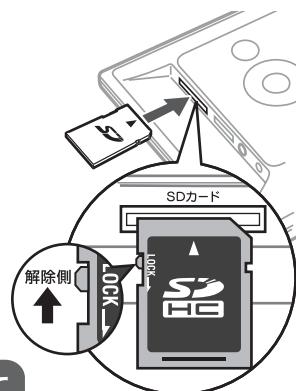
2 機器の準備(つづき)

ステップ
2

SDカード(付属)を入れる

本体背面に対してSDカードのラベル面が上になる向きにして、SDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

*スイッチが「LOCK」側になっていると使用できません。スイッチを解除側にしてください。



本機で使用できるSDカードについて

SDXC(64GB/128GB/256GBまで)とSDHC(4GB/8GB/16GB/32GB)カードが使用可能です。サンディスク社製推奨。

*2GB以下のSDカードを使用した場合、記録が不安定になる場合があります。

SDカードを取り出す

SDカードを「カチッ」と音がするまで押し込み、ゆっくりと指を離すと、メモリーカードが出てきます。

*SDカードを取り出す前に電源ボタンで電源を切ってください。

手順が適切におこなわれなかった場合、記録データが損傷したり本体が誤動作する場合があります。

【備考】

新しいSDカードや他の機器(カメラやパソコン)で初期化したSDカードを、本機で使用可能な状態にするためにご使用前に初期化(フォーマット)してください。

『8 SD カードを使用可能な状態にする』は ➡ 14 ⇧

『SDカードオプション』は ➡ 58 ⇧

ステップ
3

映像/音声入力ケーブルを接続する
本体と映像/音声入力ケーブルを接続します。



カメラのケーブルと接続

ステップ
4

ACアダプターを接続する
本体とACアダプターを接続します。

- ① 本体に接続します。
- ② 家庭用のコンセントに接続します。



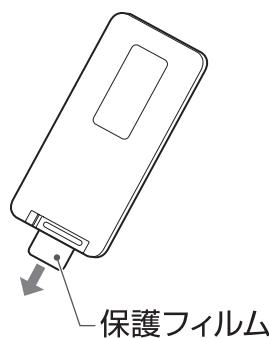
3 リモコンの準備をする

はじめて使用するとき

保護フィルムを引き抜いてからご使用ください。あらかじめボタン電池(CR2025)が入っていますので、すぐにお使いいただくなことができます。

*ご購入時にリモコンに入っている電池はお試し用です。リモコン操作がしにくく感じたら、新しい電池と交換してください。

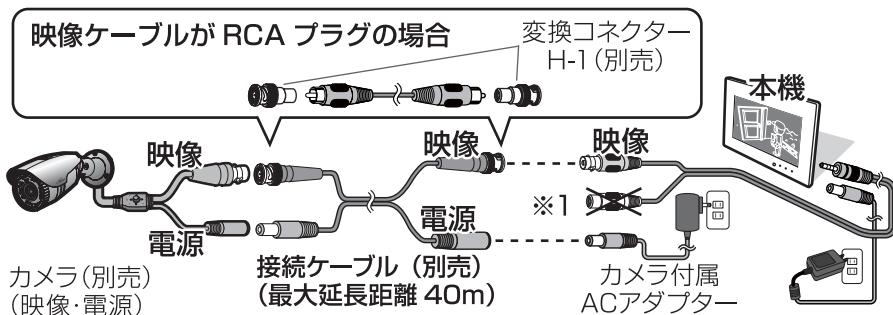
『リモコンの電池交換』のしかたは ▶69



保護フィルム

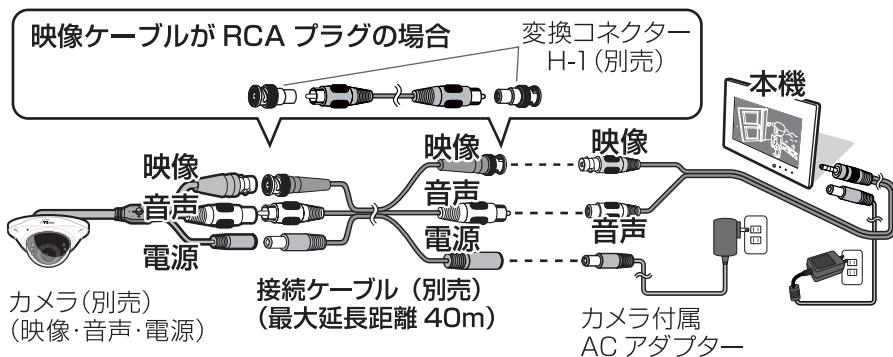
4 カメラを接続する

AHDカメラ、アナログ(CVBS)カメラとの接続配線例



※1音声入力端子(白)は使用しません。

マイク付きカメラとの接続配線例



※映像が映らない場合はカメラ端子の接続やACアダプターの接続などを
ご確認ください。

※カメラの接続方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 主電源を入れる

主電源を入れる

- ①本体の電源ボタン「」を「電源表示LED（緑）」が点灯するまで、長押し（約3秒間）します。

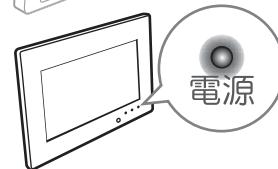
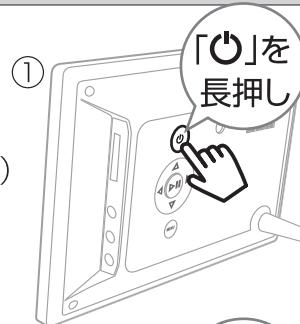
※リモコンで電源を入れることはできません。

- ②数秒後、オープニング画面（フォトモード）を表示します。

※起動に時間がかかる場合があります。

SDカード内のデータの読み込みなどに時間がかかっているためで故障ではありません。

エラーメッセージが表示された場合 ➤ 81 ↑

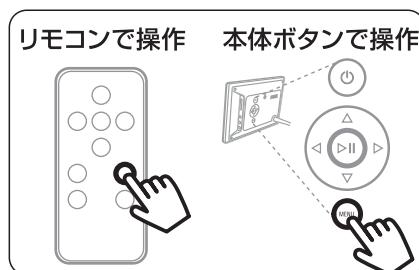


オープニング画面（フォトモード）

6 カメラの映像（ライブ画面）を見る

カメラの映像を見るには、オープニング画面（フォトモード）からライブ画面（レコーダーモード）に切り替えます。

※カメラの映像信号が入力されると「AHDカメラ」や「アナログカメラ(CVBS)」を自動認識します。



オープニング画面



ライブ画面

7 SDカードを使用可能な状態にする

SDカードを初期化(フォーマット)する

新しいSDカードや他の機器(カメラやパソコンなど)で初期化したSDカードを、本機で使用可能な状態にします。SDカード内のすべての保存データを消去します。

①「メニュー/戻る」ボタンを押す



「メインメニュー」が表示

②「▲」「▼」ボタンを押し
「SDカードオプション」を
白枠で選択
③「▶/■/決定」ボタンを押す



「SDカードオプション」画面が表示

④「▲」「▼」ボタンを押し
「SDカードフォーマット」を選択
⑤「▶/■/決定」ボタンを押す



SDカード内を初期化後、

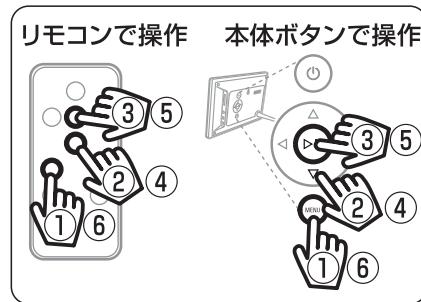
「SDカードオプション」画面を表示し、
フォーマット終了

ライブ画面に戻る

⑥「メニュー/戻る」ボタンを2回押す



「ライブ画面」が表示



- ① メインメニュー
再生メニュー
日時設定
モーションセンサー設定
手動録画設定
スケジュール録画設定
SDカードオプション >
システム情報
システム設定
設定初期化 >
- ② SDカードオプション
ディスク容量 : 15678MB
ディスク残り容量 : 15678MB
最大ファイルサイズ : 100MB
録画上書き : 許可
動画ファイル削除 >
SDカードフォーマット >
- ③ 注意!
写真を含む SD カードデータは
全て消去されます。
いいえ : メニュー はい : ▶/■

『SDカードオプション』は ➔ 61 リ

8 日時の設定をする

ライブ画面(レコーダーモード)上部に日時が表示されます。時刻がずれている場合に設定をおこないます。

※本機には日時の自動補正機能はありません。

定期的に時刻をあわせてください。

※時刻が表示されない場合はリモコンの「表示」ボタンを押します。

2018/01/01 12:00:23



①「メニュー/戻る」ボタンを押す



「メインメニュー」が表示

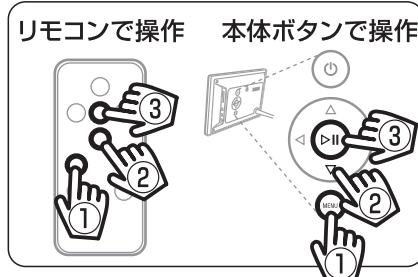
②「▲」「▼」ボタンを押し

「日時設定」を白枠で選択

③「▶/■/決定」ボタンを押す



「日時設定」画面が表示



例 時刻」で「分」を設定する場合

④「▲」「▼」ボタンを押し

「時刻」の「時」・「分」・「秒」から

「分」を選択

⑤「◀」「▶」ボタンで数値を

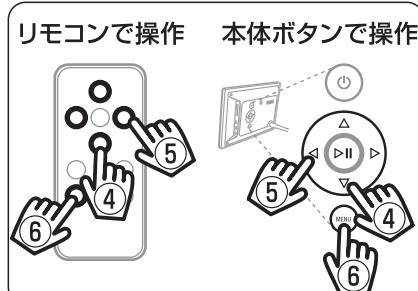
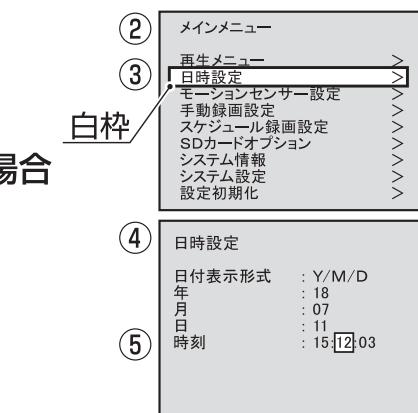
変更する

続ける場合は④、⑤を繰り返す

【数値の更新のタイミング】

「左◀・右▶」ボタンを押した時点で更新されます。「秒」を合わせる場合は時報のタイミングに合わせて「左◀・右▶」ボタンを押します。

「日時の設定」の詳細は ➔ 38



ライブ画面に戻り時刻を確認する

⑥「メニュー/戻る」ボタンを2回押す



「ライブ画面」が表示

⑥

2019/05/11 12:13:14

2019/05/11 12:13:14



9 録画を開始する

手動録画をする

「手動録画」ボタンを押すと録画を開始し、もう一度「手動録画」ボタンを押すと録画を停止します。シンプルな録画操作なので、お出かけ前に録画を開始し、帰宅後に録画を停止するといった使い方などに最適です。

手動録画を開始する

①リモコンの「手動録画/停止」

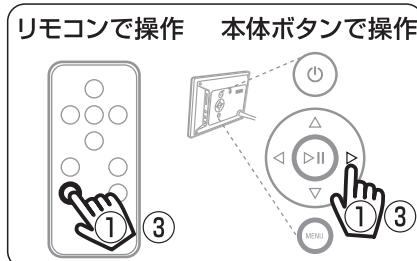
ボタンおよび本体の「右▷」

ボタンを押す



②画面下部に録画状態が表示

録画を開始する



手動録画を停止する

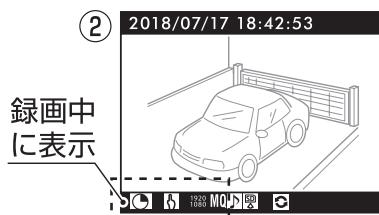
③リモコンの「手動録画/停止」

ボタンおよび本体の「右▷」

ボタンを押す



録画を停止、「ライブ画面」に戻る



【録画時間の目安】

本機はAHDカメラ2.0(別売)を接続し、初期状態で「手動録画」で録画する
と4GBで約5時間、32GBで約44時間、64GBで約89時間の録画が可能
です。

※録画時間はあくまで目安であり、録画する内容により大幅に変わります。

「録画時間の目安」▶72

～応用編～ 多彩な録画機能を使う

心配だからすべて録画する

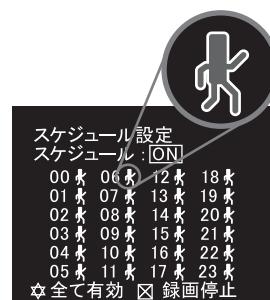
全時間を低画質で取り逃がしのないように
録画(通常録画)しながら、画面に動きがあ
った場合に高画質で録画(モーション録画)
する機能を備えています。おすすめの設定
方法です。

※通常録画+モーション録画の組合せ設定時は、
プレ録画は機能しません。



動きがあるときだけ録画する

普段は録画せず、画面に動きがあった(モ
ーション検知した)場合に録画を開始する
モーション録画の設定ができます。モーシ
ョン検知の数秒前から録画するプレ録画と
連動が可能です。SDカードのデータ容量
を節約しながら効率的に録画ができます。



指定時間(例えば夜の間)のみ録画する

1日(24時間)を1時間単位で録画する/録画
しないの設定ができます。また、動きがあ
たら録画するモーション録画や連続で録画
する通常録画など、録画方法を時間ごとに設
定できます。



「スケジュール設定」▶52

10 録った映像を見る(再生する)

クイック再生をする

「▶/■/決定」ボタンを押すと最新の動画ファイルを再生します。その後は一番古い順からファイルを再生します。「手動録画」でお出かけ前に録画を開始し、帰宅後に「クイック再生」で動画ファイルを簡単に見ることができます。

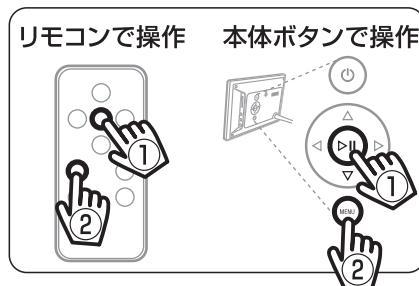
※再生中は、録画を停止します。

①「▶/■/決定」ボタンを押す



動画ファイルが再生

「再生画面の操作」 ➔ 30 ↴



再生を停止、ライブ画面に戻る

②「メニュー/戻る」ボタンを押す



再生を停止し、「ライブ画面」に戻る

～応用編～ 一覧から選択して再生する

再生メニューから再生する

本機の「再生メニュー」を開き、動画ファイルの日付の一覧から目的の動画ファイルを選択して再生することができます。

SDカードの動画ファイルをパソコンで再生することもできます。

再生メニュー	
日付	ファイル数
2018/09/17	5
---	0
---	0
---	0
現在のページ 1/1	ファイル番号：1
時刻：	13：45：56

「一覧から選択して再生する」 ➔ 32 ↴

「パソコンで再生する」 ➔ 34 ↴

11 保護シートをはがす

本体正面には輸送時などのキズ防止のため、保護シートを貼っています。映像が見にくくなる場合がありますので保護シートをはがしてからご使用ください。



12 主電源を切る

主電源を切る

「電源」ボタンを押すと、安全にシステムを終了(録画中は録画を停止)します。

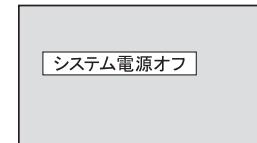
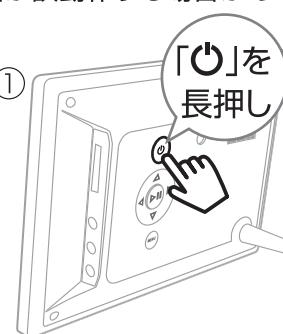
*「停電で突然電源が切れた」、「ACアダプターを抜いた」など、正しく電源を切らなかつた場合、動画ファイルが破損したり機器が誤動作する場合があります。

- ①本体電源ボタン「」を「システム電源オフ」と表示されるまで長押し(約3秒間)

↓

- ②画面と「電源表示LED(緑)」が消灯し、電源が切れる

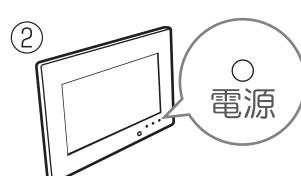
*設定内容は保存されます(長期間使用しなかつた場合を除く)。



【重要】

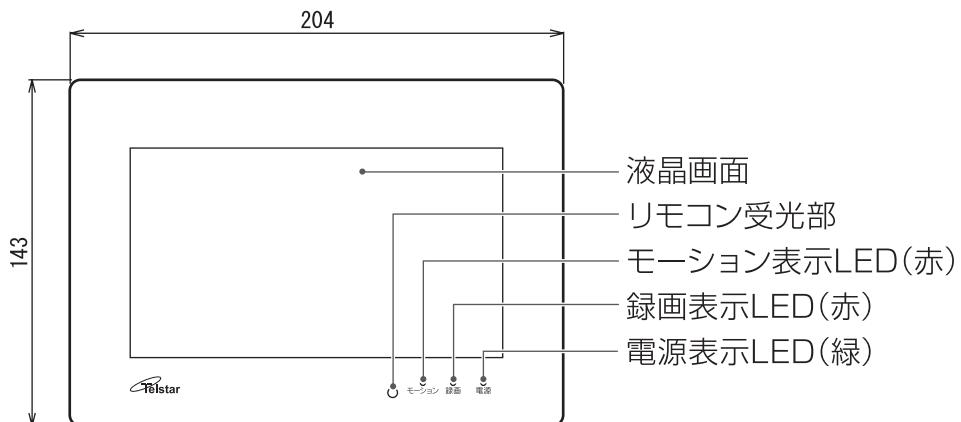
SDカードは完全に主電源が切れたことを確認後、抜いてください。

*起動中や電源停止中にSDカードを抜かないでください。破損する場合があります。

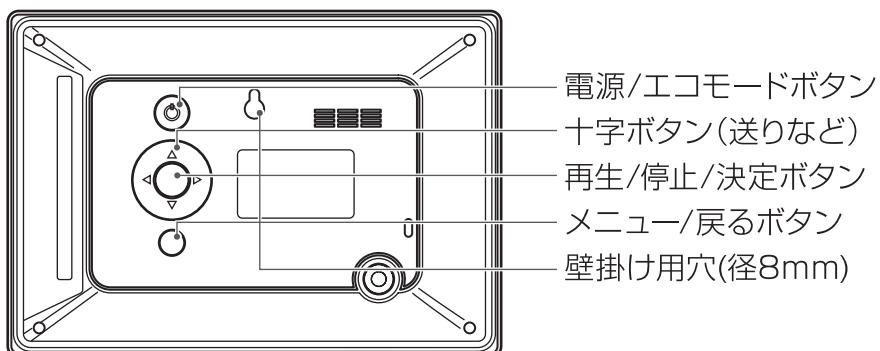


各部の名称

正面



背面



LED表示について

電源表示LED(緑): 電源ON時に点灯

録画表示LED(赤): 録画中に点灯

: SDカードにアクセス中は点滅

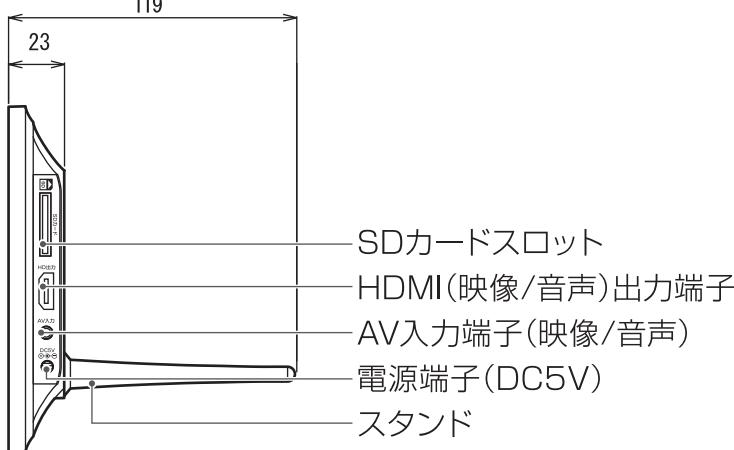
(エラーメッセージ表示中は点滅)

モーション表示LED(赤): 一度検知された場合はゆっくり点滅

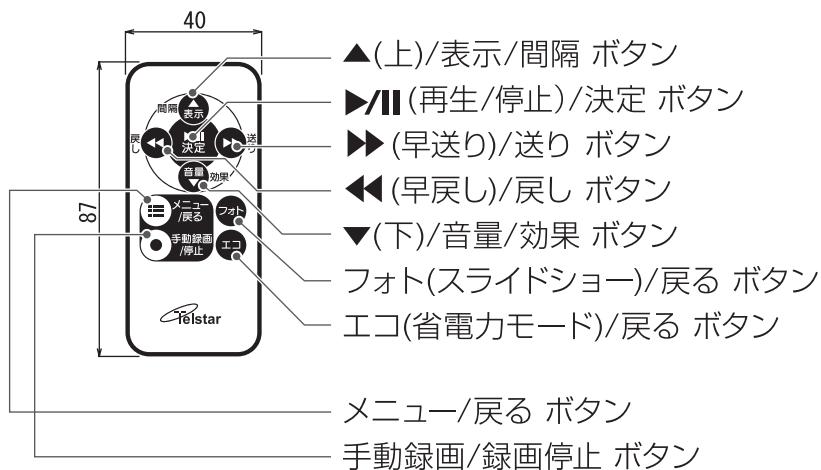
(検知してからボタン操作をするまで)

: 検知中は速く点滅

側面



リモコン



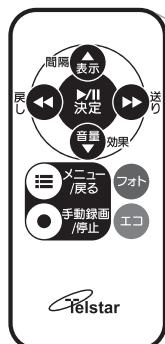
お知らせ

ボタンの機能は「ライブ画面」などの各画面ごとに割り当てられています。
詳しくは各モード、各画面の項をご確認ください。

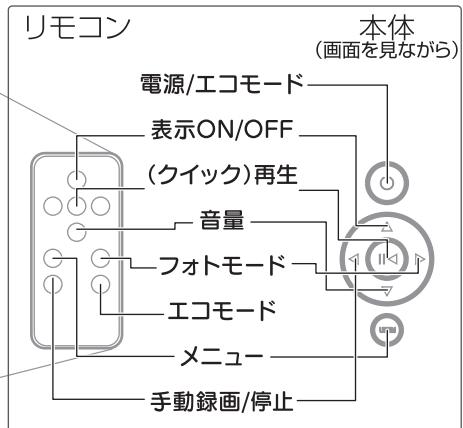
ボタン操作について

機能配置図

本機はリモコンおよび本体裏面のボタンでほとんどの操作が可能です。リモコンと本体ボタンの機能配置は各ページの「機能配置図」でご確認ください。



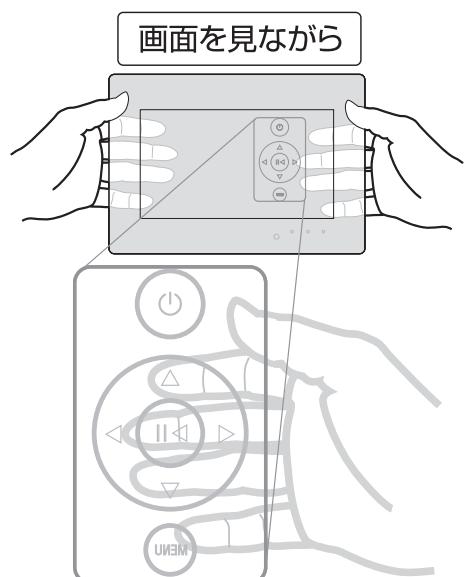
レコーダーモードでの「機能配置図」例



本体ボタンの操作について

本体ボタンは画面を見ながらの操作が可能です。両手で本体を持ち、右手の指先でボタンを探りながら操作をします。

本体ボタン操作イメージ



モードと画面表示

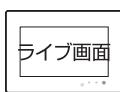
モードについて

本機には「フォトモード(スライドショー)」、「エコ(モニター非表示)モード」、「レコーダーモード」、「カメラ設定(UTC)モード」の4つのモードがあります。

各モードは図のような関係になっています。「レコーダーモード」のライブ画面を中心に各モードへ切り替えるイメージです。

お知らせ

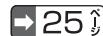
- 「レコーダーモード」の再生画面や設定画面から各モードへ切り替えはできません。
- カメラの設定画面を終了せずにレコーダーモードに戻ると、カメラのメニューが表示されたままとなり、レコーダーモードでは操作ができません。再度、カメラ設定(UTC)モードに入り、カメラのメニューを終了してください。



フォトモード
(オープニング画面・スライドショー)



エコモード
(モニター非表示)



レコーダーモード

(ライブ画面)

2018/07/17 18:42:53



レコーダーモード
(ライブ画面の表示をオフ)

28



カメラ設定(UTC)モード
(カメラのメニュー・ズーム調整)



※画面表示は説明のためのイメージです。

フォトモード(スライドショー)

主電源を入れ、最初に表示される画面がフォトモードです。お使い始め(画像データ取込み前)の場合はオープニング画面を表示します。お気に入りの画像データ(JPEG)を取り込めば、スライドショーを表示します。防犯専用レコーダーとして使用(録画)しながら、簡易的なデジタルフォトフレームとしてご利用いただけます。

画像データを取り込む

SDカードをパソコンなどに接続し、画像データを取り込みます。

『スライドショーの準備』▶71

ライブ画面からフォトモードを表示する

①「フォト(青)」ボタンを押します。

フォトモードに切り替わります。

お知らせ

- メインメニュー画面、再生画面、エコモードから切換えはできません。
- モーション検知の設定をすると、モーション検知をするたびにライブ画面を表示します。

ライブ画面に戻る

②「フォト(青)」ボタンを押します。

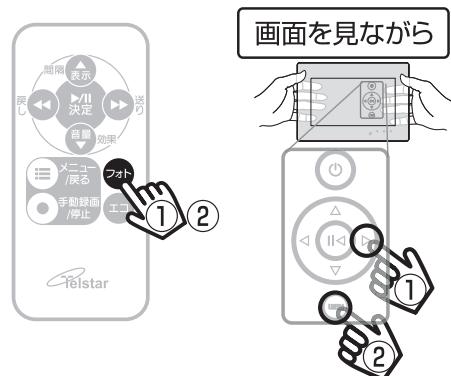
スライドショーの表示間隔や効果を変更する

「間隔」ボタンを押して変更します。

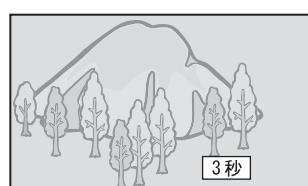
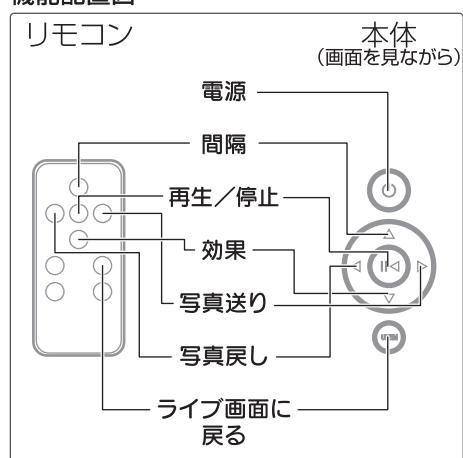
→ 3秒→7秒→15秒 →

「効果」ボタンを押して変更します。

→ ノーマル→ワイプ→フェード →



機能配置図



エコモード(モニター非表示)

お出かけ前やおやすみ前など、モニターを非表示にしたい場合の省電力モードです。消費電力を最大約 60% 低減します。ライブ画面（録画中を含む）よりエコモードに入ります。

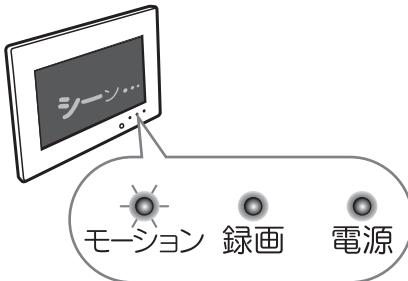
ライブ画面からエコモードに切り替える

- ①「エコ(緑)」ボタンを押します。

エコモード(モニター非表示)に切り替わります。

本体の状態を各表示LEDで確認できます。

『LED表示について』 ▶ 20 ↑

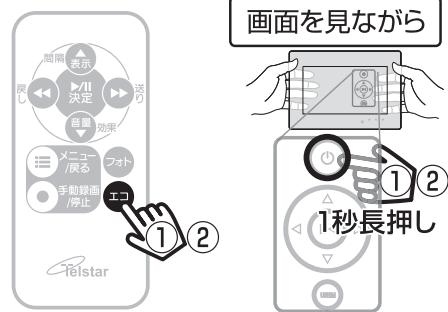


お知らせ

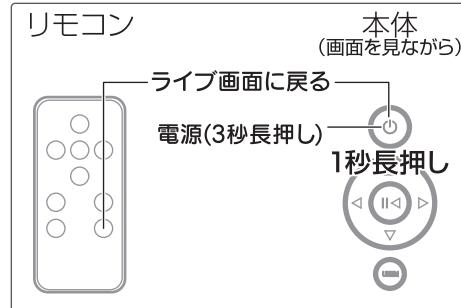
- メインメニュー画面、再生画面、フォトモードからエコモードには入れません。
- エコモード中は、警告音やライブ音声は出ません。

ライブ画面に戻る

- ②「エコ(緑)」ボタンを押します。



機能配置図

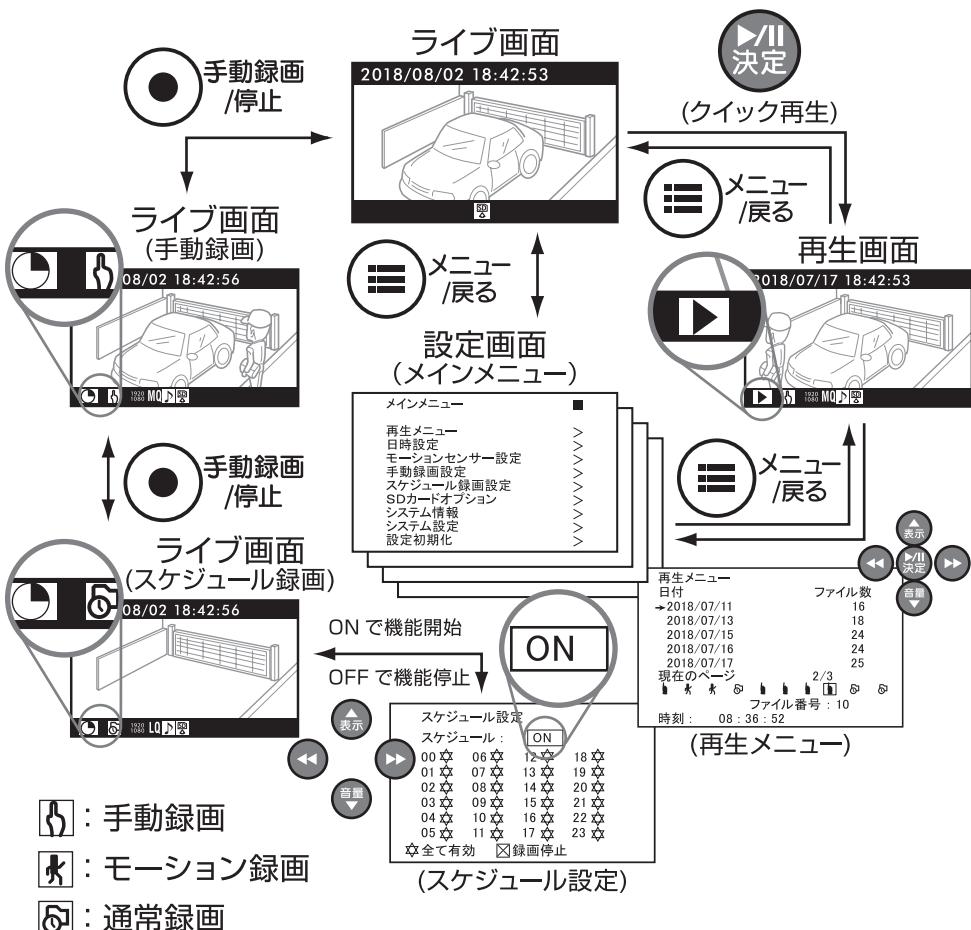


お知らせ

本体でボタン操作する場合、電源ボタンがエコモードボタンを兼ねていますので、1秒長押しでエコモードに切り替わりますが、3秒以上長押しすると電源が切れます。操作がうまくいかない場合はリモコンでの操作をおすすめします。

レコーダーモード

レコーダーモードにはカメラのライブ映像を映すライブ画面、録画中のライブ画面、録画した動画ファイルを再生する再生画面、設定画面(メインメニュー)があります。各画面は下図のような関係になっています。

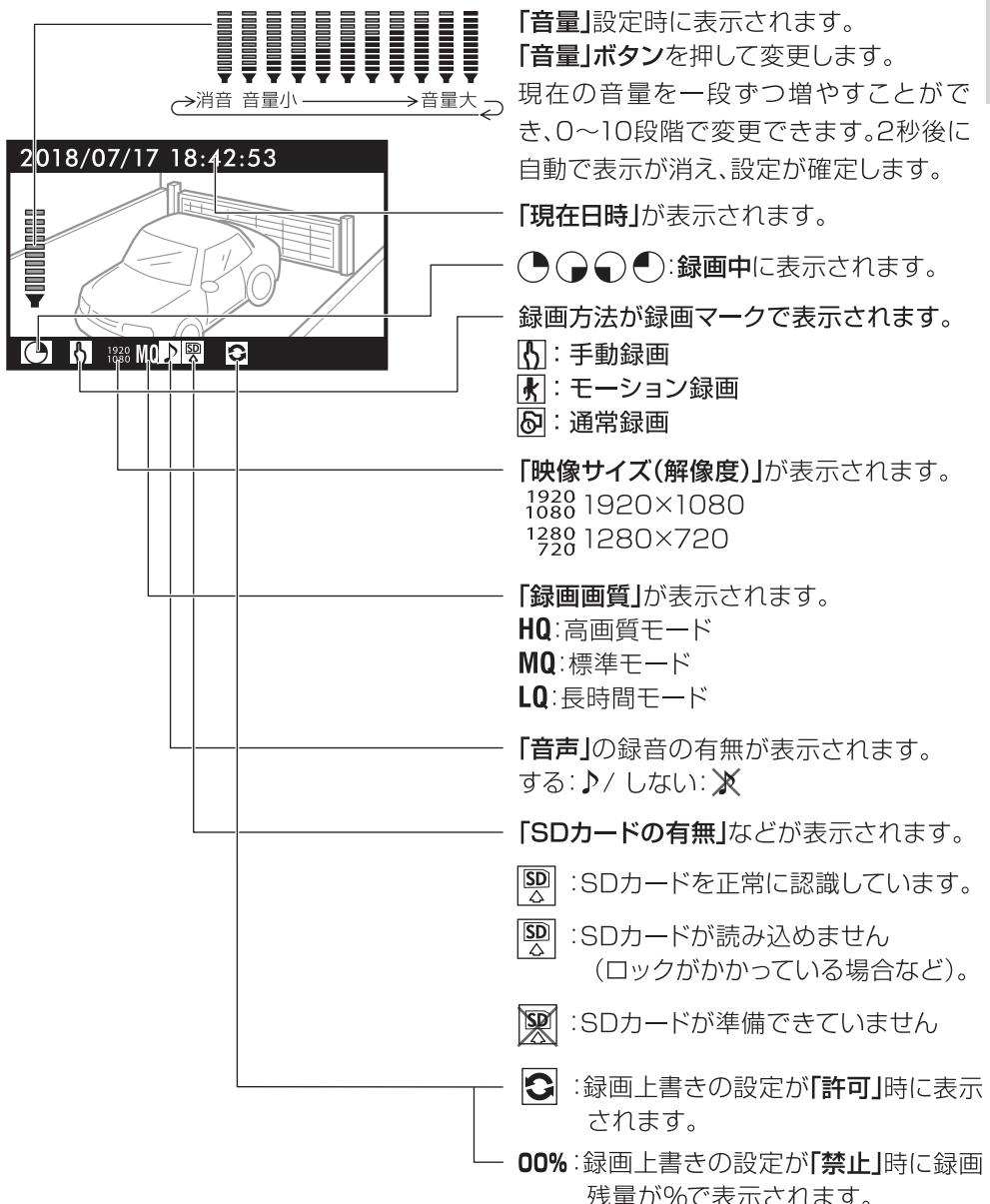


お知らせ

お買い上げ時の状態(初期値)ではスケジュール設定(モーション録画、通常録画)は「OFF」で、機能していません。

ライブ画面

ライブ画面ではカメラの現在映っているカメラの映像を確認できます。ライブ画面を中心に各モードや画面に切替えることができます。



カメラ設定(UTC)モード

操作の前に
ライブ画面を表示

本機でAHD2.0カメラの設定をおこなう

UTC 対応 AHD2.0 カメラの設定をおこなうモードです。

ライブ画面からカメラ設定 (UTC)モードに切り替える

- 「表示」ボタンを押します。
ライブ画面の表示(時刻や録画状態)がオフになります。

お知らせ

フォトモード、エコモード、メニュー画面、再生画面からは切換えできません。

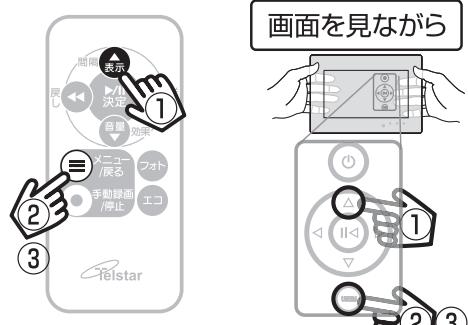
- 「メニュー」ボタンを押します。
カメラ設定(UTC)モードに入り、カメラのメニューが表示します。
カメラのメニューの設定をします。カメラの取扱説明書をご覧ください。

ライブ画面に戻る

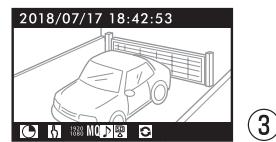
- 「メニュー/戻る」ボタンを押します。ライブ画面に戻ります。

お知らせ

- カメラのメニューを終了してください。
終了せずにレコーダーモードに戻ると、カメラのメニューが表示されたままとなります。
- 録画を停止せずにカメラ設定(UTC)モードに入ると、カメラのメニューも一緒に録画します。



レコーダーモード (ライブ画面)



レコーダーモード (ライブ画面の表示をオフ)



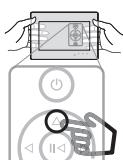
カメラ設定(UTC)モード (カメラのメニュー・ズーム調整)



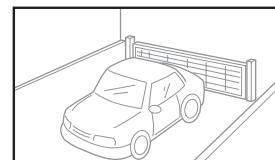
※画面表示は説明のためのイメージです。

ズーム機能付きカメラのズームとフォーカスの調整をする

1 「ライブ画面」から「カメラ設定(UTC)モード」を表示します。



「表示」ボタンを押す



ライブ画面の表示
(時刻や録画状態)がオフ

2



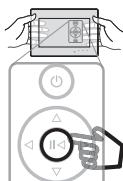
「メニュー」ボタンを押す

↓

「カメラのメニュー」が表示

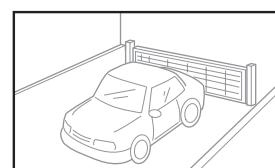


3 カメラのメニューの設定を終了します

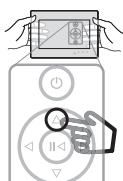


「終了」や「戻る」を選択
「▶/■/決定」ボタンを
押す

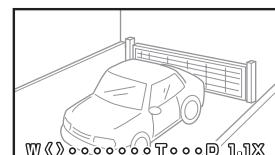
カメラのメニューが非表示



4 手動でズームとフォーカスの調整をします



カメラの取扱説明書の
「手動でのズームと
フォーカスの調整」参考



設定を終了させます

5 ライブ画面に戻る



「メニュー/戻る」ボタン
を押す

↓

「ライブ画面」が表示

カメラのメニューが消えない時 ➡ 87

再生画面の操作

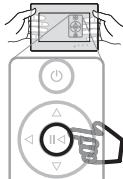


操作の前に

ライブ画面を表示

クリック再生で「**再生画面**」を開き、操作方法を確認してみましょう。

1 「ライブ画面」から「クリック再生」で再生画面を表示します。



「▶/■/決定」ボタンを
押す



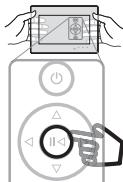
「再生画面」の
画面左下に「▶」が表示



お知らせ

「再生メニュー」から再生する場合とクリック再生で
再生する場合とで操作方法は同じです。

2 「▶再生」中に「■一時停止」をします



「▶/■/決定」ボタンを
押す



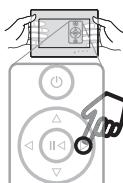
画面左下に「■」が表示



「▶/■/決定」ボタンで続きから再生します

3 「▶再生」中に「▶早送り」をします

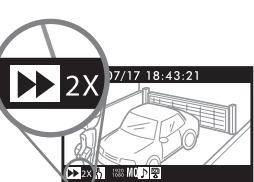
早送り再生のスピードを変更します



「▶」ボタンを押す



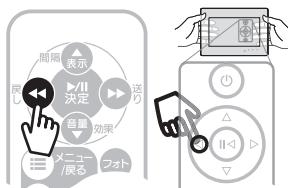
画面左下に「▶」と何倍速
で早送りしているかを表示



「▶」ボタンを押すたびに早送りのスピードを
変更します(2倍・4倍・8倍・16倍・32倍)

「▶/■/決定」ボタンで続きから再生(1倍)します

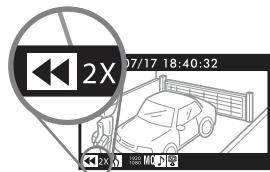
4 「▶再生」中に「◀早戻し」をします 早戻し再生のスピードを変更します



「◀」ボタンを押す

↓

画面左下に「◀」と何倍速で早戻ししているかを表示



「◀」ボタンを押すたびに早戻しのスピードを変更します(2倍・4倍・8倍・16倍・32倍)

「▶/■/決定」ボタンで続きから再生(1倍)します

5 「■一時停止」中に「▶コマ送り」をします



「▶」ボタンを押す

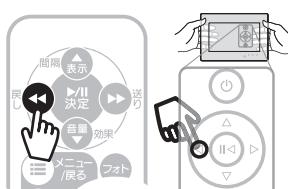
↓

画面左下に「▶」が表示



「▶/■/決定」ボタンで続きから再生します

6 「■一時停止」中に「◀秒戻し」をします



「◀」ボタンを押す

↓

画面左下に「◀」が表示



「▶/■/決定」ボタンで続きから再生します

7 再生画面を終了し、ひとつ前の画面にもどります



「メニュー/戻る」ボタンを押す

↓

「クイック再生」の場合は「ライブ画面」が表示

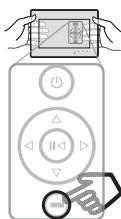


再生メニュー

日付別にまとめられた一覧から、録画マーク(動画ファイル)を選択して再生します。例えば、動きがあった時の映像を見たい場合はモーション録画の「**火**」を、気になったシーンを手動録画した場合は「**■**」の録画マークを選択して再生すれば、目的の映像を見るることができます。

※事前にスケジュール設定が必要です。

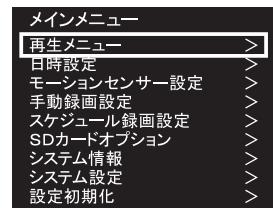
1 「ライブ画面」から「メインメニュー」表示します



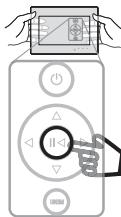
「メニュー/戻る」ボタン
を押す



「メインメニュー」が表示
「再生メニュー」を白枠で
選択



2 「再生メニュー」を表示します



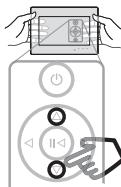
「▶/■/決定」ボタンを
押す



「再生メニュー」が表示



3 一覧から再生したい日付を選択します



「▲」「▼」ボタンを押す



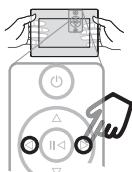
日付前の「▶」を移動し、
再生したい日付を選択



お知らせ

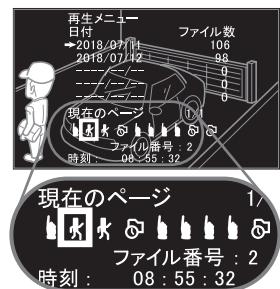
一覧に表示される日付は5日までで、以降を見るには
「▼」ボタンを押します。

4 一覧から動画ファイルの録画マークを選択します

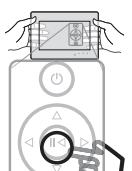


「◀」「▶」ボタンを
押す

↓
「録画マーク」を白枠で
選択

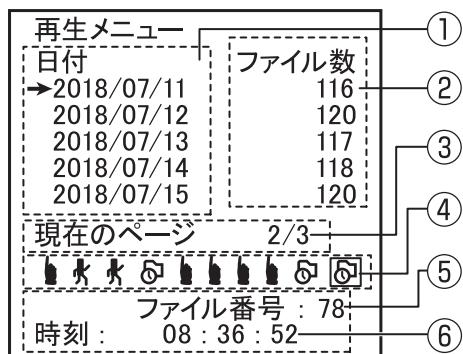
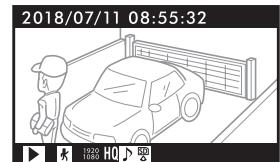


5 選択した動画ファイルを再生します



「▶/■/決定」ボタンを
押す

↓
「再生画面」が表示



- ①日付別に動画ファイルがまとめられています。選択中の日付の前に「▶」矢印が表示されます。5日分を1ページとして表示します。
- ②日付内の動画のファイル数が表示されます。
- ③現在開いているページ/ページ総数が表示されます。ページ総数は5日単位で増えます。

④動画ファイルの一覧です。

10ファイル分表示します。

録画方法を録画マークで表示します。

: 手動録画

: モーション録画

: 通常録画

: プレ録画

⑤選択した録画マーク(動画ファイル)のファイル番号を表示します。

⑥選択した録画マーク(動画ファイル)の録画時刻を表示します。

例

- ①▼ボタンを押すと5日以降を見ることが可能。2018年7月11日を選択(②ファイル数116個)。③3ページのうち2ページ目にいます。④通常録画のファイルを選択⑤ファイル番号は78
- ⑥録画された時刻は8時36分52秒

パソコンで再生する

SDカードの取り外しと接続

- ①本機の電源を切り、SDカードを取り外します。

お知らせ

SDカードの取り外しは必ず本体の電源を切ってからおこなってください。

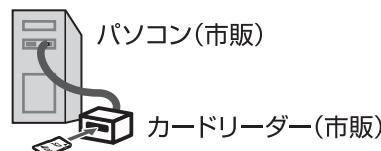
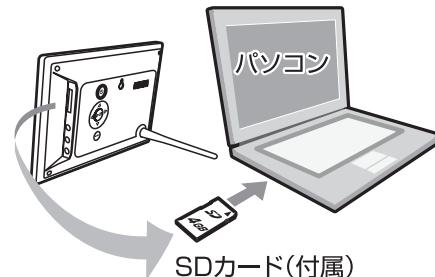
- ②SDカードをパソコンに接続します。

お知らせ

SDカードスロットが無いパソコンに接続する場合は、SDHC/SDXCメモリーカード対応のカードリーダーをご用意ください。

- ③windowsのエクスプローラーを表示し、SDカードに保存されているデータを表示します。

- ④動画ファイルはSDカード内の「DVH264」フォルダにAVI形式で保存されます。
ファイル名は日時や録画方法を表しています。



20190502-153050 CO .AVI
西暦日付 時分秒 拡張子

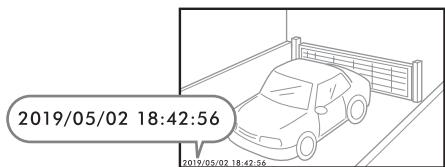
MA:手動録画
PA:プレ録画
MO:モーション録画
CO:通常録画

お知らせ

- モーション検知があった時点でモーション録画(MO)とプレ録画(PA)のAVIファイルが一緒にできます。
- 本機の「プレ録画」は、内蔵メモリーに録画データを一定秒数書き換え続けており、モーション検知があった時点でそれ以前の録画データをAVIファイル形式に書き出します。
※「モーション録画」の設定で「プレ録画」の秒数を0以外に設定した場合

動画ファイルを再生する

Windows OSに標準でインストールされている「メディアプレーヤー」で再生すると再生画面の左下に録画日時(タイムスタンプ)が表示されます。

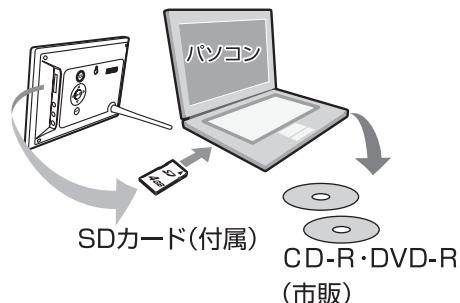


お知らせ

最新バージョンでのご使用をお勧めします(メディアプレーヤー12以降推奨)。

動画ファイルのバックアップ

SDカードに記録された動画ファイルをパソコンに保存することができます。証拠の映像など大切なデータはこまめにバックアップすることをおすすめします。



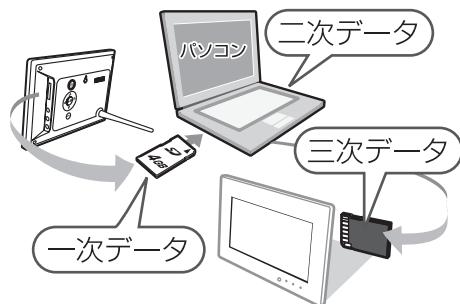
お知らせ

再生画面に表示される録画日時(タイムスタンプ)はデータを移動しても変わることはありません。

ご注意

パソコンへコピーした録画データ(二次データ)を、再びSDカードへ戻さないでください。録画データは日付によって管理されています。SDカードに一次データと三次データが混在した場合、コピー時の日時で管理されるため、「再生メニュー」の日付の順番がずれたり、表示されない場合があります。

本機で記録された録画データ以外の動画データを再生することはできません。





操作の前に

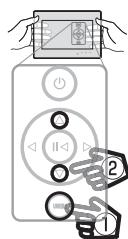
ライブ画面を表示

スケジュール録画設定

「スケジュール設定」をONにすると「通常録画」で全時間帯をデータ容量を節約(低画質低フレーム)で録画し、検知があった場合は「モーション録画」に切り替えきれいな映像(高画質高フレーム)で録画を開始します。

※初期設定では「スケジュール設定」はOFFになっています。

1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します 「スケジュール録画設定」を白枠で選択します

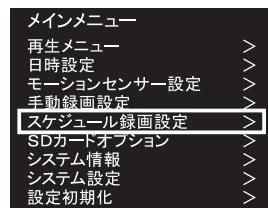


①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓

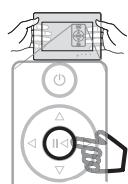
「メインメニュー」
が表示

②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓

「スケジュール録画設定」
を白枠で選択



2 「スケジュール録画設定」の設定画面を表示します



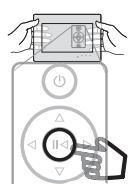
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓

「スケジュール録画設定」
が表示

「スケジュール設定」
が白枠で選択



3 「スケジュール設定」の設定画面を表示します



「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓

「スケジュール設定」
が表示

白枠に「OFF」と表示



スケジュール録画設定 ▶ 52

4 「スケジュール」を「ON」に変更します



「◀」「▶」ボタンを
押す



「ON」に変更

初期設定のまま使ってみる
(通常録画+モーション録画)

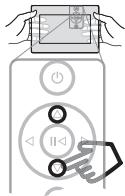
時間ごとに録画の
設定をする

スケジュール設定	
スケジュール [ON]	
00	06
01	07
02	08
03	09
04	10
05	11
06	12
07	13
08	14
09	15
10	16
11	17
12	18
13	19
14	20
15	21
16	22
17	23

※ 全て有効 録画停止

ON

5 時間ごとに「録画方法」の設定を変更します



①「▲」「▼」ボタンを押す



00(午前0時)
の
録画マーク「」を
白枠で選択



②「◀」「▶」ボタンで、
録画方法を変更する



設定したい時間で①②をおこなう

00 

スケジュール設定	
スケジュール : ON	
00	06
01	07
02	08
03	09
04	10
05	11
06	12
07	13
08	14
09	15
10	16
11	17
12	18
13	19
14	20
15	21
16	22
17	23

※ 全て有効 録画停止

お知らせ

 **全て有効**(初期設定):通常録画で継続的に録画し、動きを検知すると、「モーション録画」に切り替わり、設定秒数録画後、「通常録画」に戻ります。

 **通常録画**:その時間内は全て(連続で)録画したい場合に選択します。

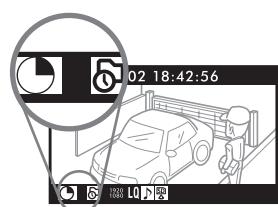
 **モーション録画**:動きがあったのみ録画したい場合に選択します。

 **録画停止**:その時間内は録画しない場合に選択します。

6 ライブ画面に戻りスケジュール録画を開始します



「メニュー/戻る」ボタン
を3回押す↓
「ライブ画面」が表示



日時の設定をする



操作の前に

ライブ画面を表示

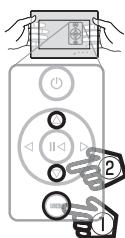
日時設定

内蔵時計の日付と時間の設定をします。

※設定の前に録画を停止します。

1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します

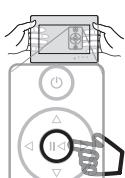
「日時設定」を白枠で選択します



- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」
が表示
- ②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「日時設定」
を白枠で選択

メインメニュー	>
再生メニュー	>
日時設定	>
モーションセンサー設定	>
手動録画設定	>
スケジュール録画設定	>
SDカードオプション	>
システム情報	>
システム設定	>
設定初期化	>

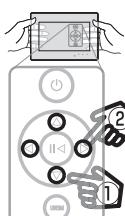
2 「日時設定」の設定画面を表示します



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「日時設定」が表示

日時設定	
日付表示形式	: Y/M/D
年	: 19
月	: 05
日	: 02
時刻	: 15:12:34

3 設定したい項目を選択し変更します



- ①「▲」「▼」ボタンで
白枠を移動する
↓
- ②「◀」「▶」ボタンで
項目や数値を変更する
↓

日時設定	
日付表示形式	: Y/M/D
年	: 19
月	: 05
日	: 02
時刻	: 15:12:34

設定したい項目で①②をおこなう

お知らせ

設定は「左・右」ボタンを押し、数値を変更した時点から更新されます。「秒」を合わせる場合は時報のタイミングに合わせて「◀」「▶」ボタンを押します。

4 「ライブ画面」に戻って設定内容を確認します



「メニュー/戻る」ボタン
を2回押す



「ライブ画面」が表示
日時を確認する

2019/05/02 15:15:20

2019/05/02 15:15:20



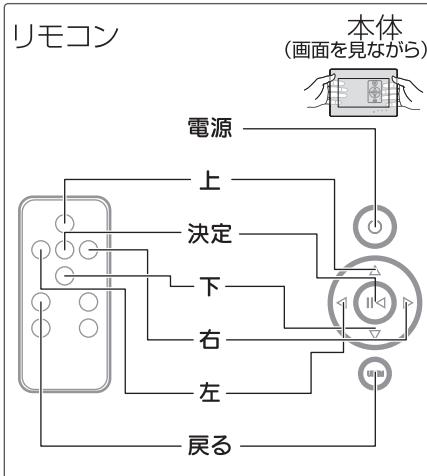
お知らせ

本機には日時の自動補正機能はありません。定期的に時刻合わせをしてください。

日時設定	
日付表示形式	: Y/M/D
年	: 18
月	: 01
日	: 01
時刻	: 12:00:00

① ② ③

機能配置図



日付表示形式

年/付/日の並び順を設定します。

Y/M/D(例:2019年01月02日)

D/M/Y(例:02日01月2019年)

M/D/Y(例:01月02日2019年)

より選択します。

年

年を設定します。

設定が可能な年数は、2000年から2099年です。

月

月を設定します。

日

日付を設定します。

時刻

時刻を設定します。

①時を設定します。

②分を設定します。

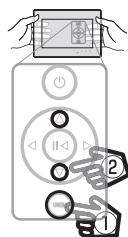
③秒を設定します。



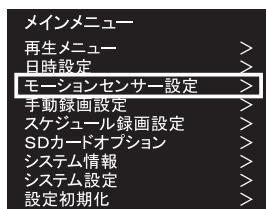
エリア設定

映像の変化から動体を検知する**モーション録画**の検知エリアの設定をします。照明や葉っぱの揺れなど、本来の目的とは関係のない動きを検知しないよう検知範囲から除外することで検知精度をあげることができます。
※「スケジュール録画設定」>「スケジュール設定」>「スケジュール:ON」で設定が有効になります(初期設定はOFF)。

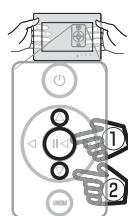
- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「モーションセンサー設定」を白枠で選択します**



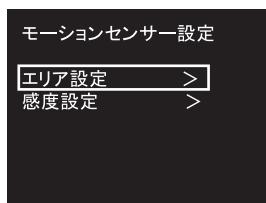
- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」
が表示
②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「モーションセンサー設定」を白枠で選択



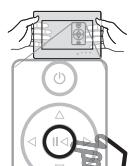
- 2 「モーションセンサー設定」画面を表示します
「エリア設定」を白枠で選択します**



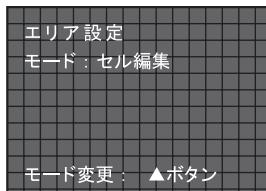
- ①「▶/■/決定」ボタン
を押す ↓
「モーションセンサー設定」
を表示
②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「エリア設定」を白枠で選択



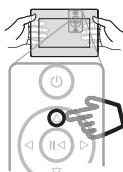
- 3 「エリア設定」の設定画面を表示します**



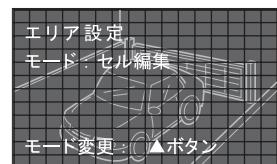
- 「▶/■/決定」ボタンを
押す
↓
「エリア設定」を表示



4 検知エリアを編集する「モード」を変更します



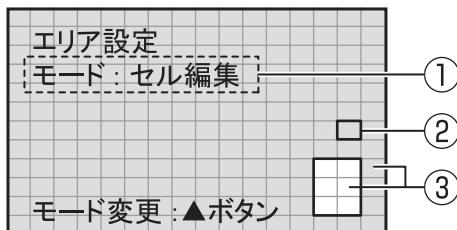
「▲」ボタンを押す
↓
「モード」が変更する



5 次ページ以降の各モードの設定方法へ

ご注意

夜間に車のヘッドライトなど強い光によって画面全体に映像の変化がある場合は、エリア設定をしてもモーションの検知が反応し続ける場合があります。



①: モード

以下の編集モードがあります。
▲ボタンでモードを変更します。

- ▽
セル編集
- エリア消去
- 全エリア非検知
- エリア追加
- 全エリア検知

②: カーソル

▼・◀・▶ボタンで位置を変更します。

③: 検知ブロック

赤: 検知／白: 非検知

画面全体は16×12の四角形の枠に分割されています。

セル編集

ブロック単位で検知(赤)、非検知(白)を設定できます。細かくエリアを指定したい場合のモードです。

エリア消去

検知(赤)エリアの選択した範囲を非検知(白)エリアにします。

全エリア非検知

全てのエリアを一括で非検知(白)にします。

エリア追加

非検知(白)エリアの選択した範囲を検知(赤)エリアにします。

全エリア検知

全てのエリアを一括で検知(赤)にします。

設定を変更する

モーションセンサー設定(エリア設定)

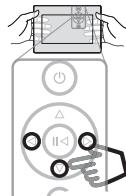
操作の前に

ライブ画面を表示

セル編集

ブロック単位で検知(赤)、非検知(白)を設定できます。細かくエリアを指定したい場合のモードです。

1 編集したいブロックにカーソルを移動します



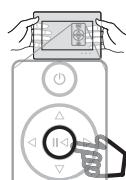
「▼」「◀」「▶」ボタン
を押す



「カーソル」を移動する



2 ブロック単位で検知(赤)と非検知(白)を切換えます



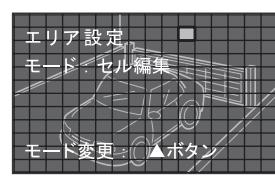
「▶/■/決定」ボタンを
押す



検知(赤)の場合は
非検知(白)に

非検知(白)の場合は
検知(赤)に切替わる

ブロックごとに5、6の操作を繰り返す



お知らせ

カーソルは上方向には移動できません。「下」ボタンで移動します。

3 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

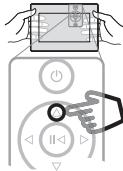
お知らせ

検知エリアを狭くすると不要な録画が減り、録画時間を増やすことができます。

エリア消去

検知(赤)のエリアを始点と終点を選んで非検知(白)にします。

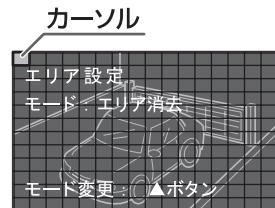
- 1 編集したい範囲の始点にカーソルを移動します



「▼」・「◀◀」・「▶▶」ボタン
を押す

↓

「カーソル」を移動する



お知らせ

カーソルは上方向には移動できません。「下」ボタンで移動します。

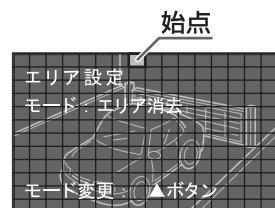
- 2 エリアの始点を選択(青)します



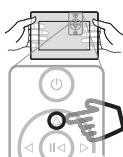
「▶/■/決定」ボタンを
押す

↓

始点が選択(青)される



- 3 編集したい範囲の終点にカーソルを移動します



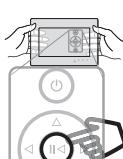
「▼」・「◀◀」・「▶▶」ボタン
を押す

↓

「カーソル」を移動する



- 4 選択範囲を確定します



「▶/■/決定」ボタンを
押す

↓

選択範囲が確定し、非検知(白)になる
エリアごとに5~8の操作を繰り返す



- 5 「ライブ画面」に戻り
設定を終了します

「メニュー/戻る」ボタンを3回押す

↓

設定を終了し、「ライブ画面」が表示

設定を変更する

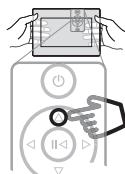


エリア追加

非検知(白)のエリアを始点と終点を選んで検知(赤)にします。

検知エリアを狭くすることで不要な録画を少なくすることができます。

1 編集したい範囲の始点にカーソルを移動します

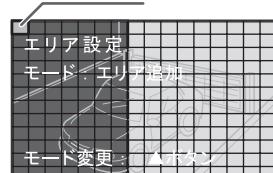


「▼」・「◀◀」・「▶▶」ボタン
を押す



「カーソル」を移動する

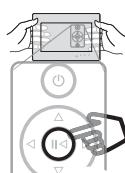
カーソル



お知らせ

カーソルは上方向には移動できません。「下」ボタンで移動します。

2 エリアの始点を選択(青)します

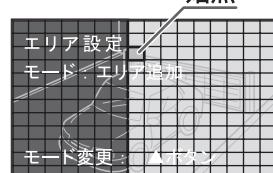


「▶/■/決定」ボタンを
押す

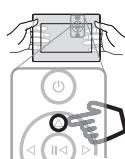


始点が選択(青)される

始点



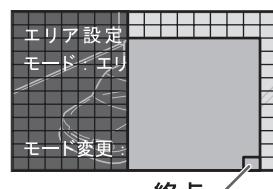
3 編集したい範囲の終点にカーソルを移動します



「▼」・「◀◀」・「▶▶」ボタン
を押す

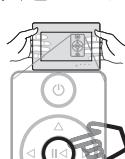


「カーソル」を移動する



終点

4 選択範囲を確定します



「▶/■/決定」ボタンを
押す



選択範囲が確定し、検知(赤)
になる
エリアごとに5~8の操作を繰り返す



5 「ライブ画面」に戻り 設定を終了します

「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

全エリア非検知

全てのエリアを一括で非検知(白)にします。

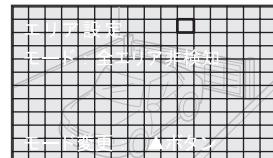
1 全てのエリアを一括で非検知(白)にします



「▶/■/決定」ボタンを
押す



全てのエリアが
非検知(白)になる



2 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

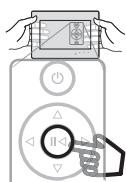
お知らせ

カーソルは上方向には移動できません。「下」ボタンで移動します。

全エリア検知

全てのエリアを一括で検知(赤)にします。

3 全てのエリアを一括で検知(赤)にします



「▶/■/決定」ボタンを
押す



全てのエリアが
検知(赤)になる



4 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

お知らせ

カーソルは上方向には移動できません。「下」ボタンで移動します。

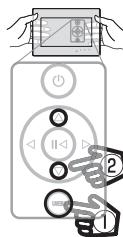


感度設定

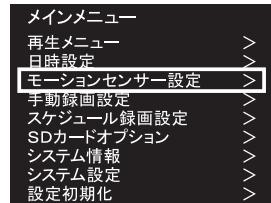
モーション録画時の検知感度の設定をします。カメラを設置し、ライブ画面でモーション(動く度合い)を測定しながら調整します。

※「スケジュール録画設定」>「スケジュール設定」>「スケジュール:ON」で設定が有効になります(初期設定はOFF)。

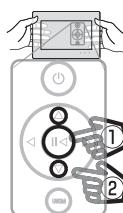
- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「モーションセンサー設定」を白枠で選択します**



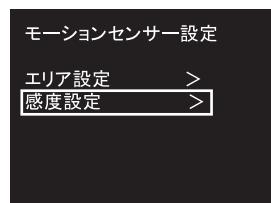
- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」
が表示
②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「モーションセンサー設定」を白枠で選択



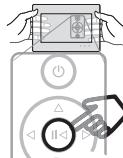
- 2 「モーションセンサー設定」画面を表示します
「感度設定」を白枠で選択します**



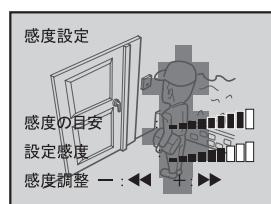
- ①「▶/■/決定」ボタン
を押す ↓
「モーションセンサー設定」
を表示
②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「感度設定」を白枠で選択



- 3 「感度設定」の設定画面を表示します**



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す
↓
「感度設定」を表示



4 映像の動き(検出の度合い)を「**感度の目安**」の感度メーターで確認します。

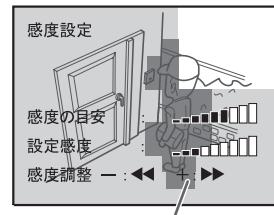
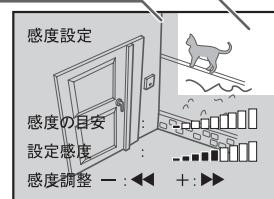
監視したい範囲で、どの程度の動きでどの位検出されるか、感度の**振れ幅**を確認します。

お知らせ

- カメラの前で協力者に動いてもらうなどして、撮影状況を再現しながら設定すると精度の高い設定が可能となります。
- 「**感度の目安**」が「**設定感度**」を超えると**検知(青)**に設定したエリア内で**検知ブロック(赤)**が反応します。
- 非検知(白)**に設定したエリア内で動きがあっても**検知ブロック(赤)**は反応しません。

非検知エリア(白)

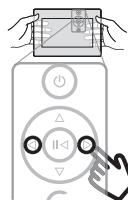
検知エリア(青)



検知ブロック(赤)

設定を変更する

5 感度調整で設定感度を調整します



感度を上げたい(反応しやすくする)場合
「**◀◀**」ボタンで値を変更(−)する

感度を下げたい(反応しにくくする)場合
「**▶▶**」ボタンで値を変更(+)する

例

- ①通常(動きのない)時の「**感度の目安**」の値(感度メーター1)を確認します。
- ②検知時の「**感度の目安**」の振れ幅の値(感度メーター5~7)を確認します。
- ③設定感度は通常時の「**感度の目安**」の値より大きい値の**2以上**で、検知時の「**感度の目安**」の振れ幅の値(**5~7**)で反応するように値**「4」**に設定します(4以下の映像の動きでは反応しない)。

6 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「**メニュー/戻る**」ボタンを3回押す

↓

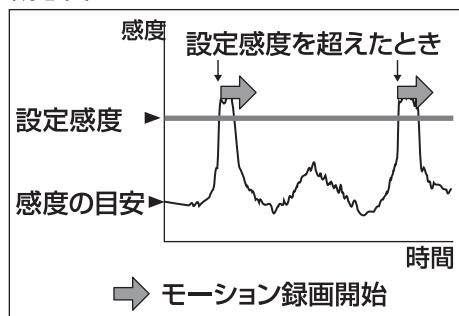
設定を終了し、「**ライブ画面**」が表示

モーションセンサー設定(感度設定)

感度設定(つづき)

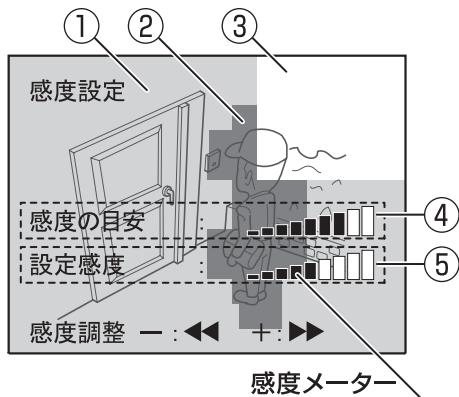
画面上に「動き」があると、「感度の目安」の感度メーターが反応します。値は絶えず変化しています。「動き」が大きいほど、感度メーターの振れが大きくなります。モーション録画では「感度の目安」の値が「設定感度」の値を超えた時に録画が開始し、警告音が鳴ります(警告音を設定した場合)。

概念図



お知らせ

本機は単位時間の変化量を検知して作動する方式を採用していますので、短時間内に捕らえている画面に大きな変化が発生した場合、モーション録画の検知機能が作動する場合があります。



お知らせ

エリア設定で検知にしたエリアが青色になります(初期設定)。

①:検知エリア(青)

エリア設定で検知にしたエリアが白色になります。

②:非検知エリア(白)

「感度の目安」が「設定感度」を超えると検知(青)に設定したエリア内で検知ブロック(赤)が反応します。

③:検知ブロック(赤)

「感度の目安」が「設定感度」を超えると検知(青)に設定したエリア内で検知ブロック(赤)が反応します。

④:感度の目安

検知エリア内の動く度合いによって感度メーターが反応します。

⑤:設定感度

感度の調整をします。「◀◀」「▶▶」ボタンで感度レベルを変更します。

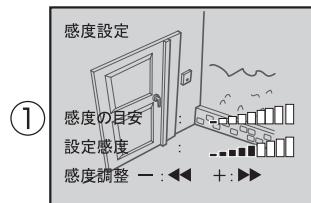
お知らせ

カメラ映像は様々な要因によって変化します。蛍光灯によるフリッカーやゆっくり変化する日の出や日の入りの明るさ、雲の移動などそれぞれの設置環境で最適な検知レベルは異なります。優先度を決めて設定を調整します。

モーションセンサー設定

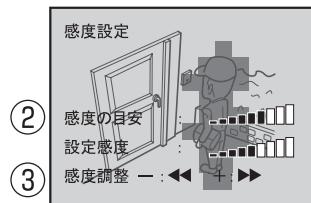
1 映像の動き(検出の度合い)を「感度の目安」の感度メーターで確認します。

監視したい範囲で、どの程度のスピードで動くと、どのくらい検出されるか、感度の振れ幅を確認します。

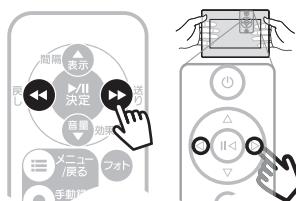


お知らせ

- カメラの前で協力者に動いてもらうなどして、実際の撮影状況を再現しながら設定すると精度の高い設定が可能となります。
- 検出中のエリア(青)内で、設定感度を超える動きを検出すると検知ブロックが赤く反応します。



2 感度調整で設定感度を調整します



感度を上げたい(反応しやすくする)場合
「◀◀」ボタンで値を変更(−)する

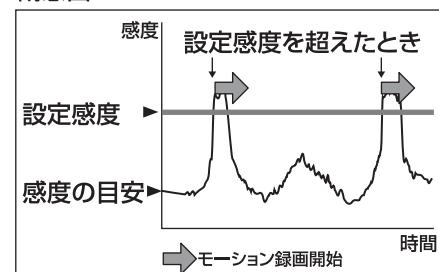
感度を下げたい(反応しにくくする)場合
「▶▶」ボタンで値を変更(+)する

例

- ① 通常(動きのない)時の「感度の目安」の値(感度メーター1)を確認します。
- ② 検知時の「感度の目安」の振れ幅の値(感度メーター5~7)を確認します。
- ③ 設定感度は通常時の「感度の目安」の値より大きい値の**2以上**で、検知時の「感度の目安」の振れ幅の値(5~7)で検知するような値**4**に設定します。
(4以下の映像の動きでは反応しない)

画面上に「動き」があると、「感度の目安」の感度メーターが反応します。値は絶えず変化しています。「動き」が大きいほど、感度メーターの振れが大きくなります。モーション録画では「感度の目安」の値が「設定感度」の値を超えた時に録画が開始し、警告音が鳴ります(警告音を設定した場合)。

概念図



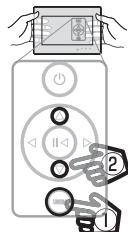
手動録画設定



操作の前に
ライブ画面を表示

手動録画での解像度やフレームレート、画質などの設定をします。
※設定の前に録画を停止します。

1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します 「手動録画設定」を白枠で選択します

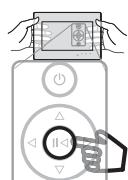


- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」
が表示
②「▲」・「▼」ボタンを押す
↓

メインメニュー	>
再生メニュー	>
日時設定	>
モーションセンサー設定	>
手動録画設定	>
スケジュール録画設定	>
SDカードオプション	>
システム情報	>
システム設定	>
設定初期化	>

「手動録画設定」を白枠で選択

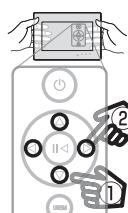
2 「手動録画設定」の設定画面を表示します



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「手動録画設定」が表示

手動録画設定	
解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 10 FPS
画質	: MQ 標準
音声	: ON

3 設定したい項目を選択し変更します



- ①「▲」・「▼」ボタンで
白枠を移動する
↓
②「◀/▶」・「▶/■」ボタンで
項目や数値を変更する
↓

手動録画設定	
解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 10 FPS
画質	: MQ 標準
音声	: ON

設定したい項目で①②をおこなう

4 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



- 「メニュー/戻る」ボタンを2回押す
↓
設定を終了し、「ライブ画面」が表示

AHD2.0カメラを接続

手動録画設定

解像度 : 1920×1080
フレームレート : 10 FPS
画質 : MQ 標準
音声 : ON

解像度

記録される画像のきめ細かさのこと
で、モニター上で表示できる広さ(ドッ
ト数)で表記します。数値が大きいほど
映像は綺麗ですが、データ量は大き
くなります。

1920×1080(初期設定)

1280×720から選択します。

フレームレート(FPS)

1秒間に何コマ記録するかの数値で
す。30FPSの場合は1秒間に30コマ
のデータを記録します。数値が大きい
ほど映像の動きはスムーズですが、デ
ータ量が大きくなり録画できる時間が
短くなります。

01・02・04・10(初期値)・15・20・
30から選択します。

画質

HQ高画質・LQ長時間・MQ標準(初
期設定)から選択します。

音声

マイク内蔵カメラを使用する際にON
にします。映像と音声が同時に記録で
きます。

ON(初期設定)・
OFFから選択します。

アナログ(CVBS)カメラを接続

手動録画設定

解像度 : 960×480
フレームレート : 10 FPS
画質 : MQ 標準
音声 : ON

解像度

960×480(初期設定)
720×480から選択します。

フレームレート(FPS)

01・02・04・10(初期値)・15・20・
30から選択します。

画質

HQ高画質・LQ長時間・MQ標準(初
期設定)から選択します。

音声

ON(初期設定)・
OFFより選択します。

お知らせ

使用中のSDカードの録画時間を増や
したい場合、各項目の数値や画質を下
げ、データ量を小さくすれば録画時間は
長くできますが、映像は見にくくなるた
め、容量の大きいSDカードをご使用い
ただくことをおすすめします。

設定を変更する

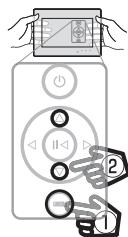


スケジュール設定

「スケジュール設定」をONにすると「通常録画」で全時間帯をデータ容量を節約(低画質低フレーム)で録画し、検知があった場合は「モーション録画」に切り替えきれいな映像(高画質高フレーム)で録画を開始します。

※初期設定では「スケジュール設定」はOFFになっています。

1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します 「スケジュール録画設定」を白枠で選択します

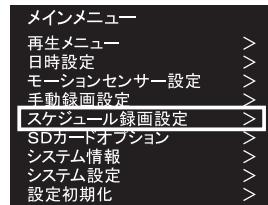


①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓

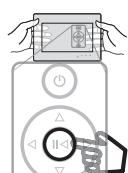
「メインメニュー」
が表示

②「▲」・「▼」ボタン
を押す ↓

「スケジュール録画設定」
を白枠で選択



2 「スケジュール録画設定」の設定画面を表示します



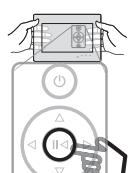
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓

「スケジュール録画設定」
が表示

「スケジュール設定」
が白枠で選択



3 「スケジュール設定」の設定画面を表示します



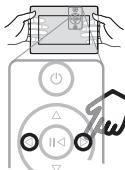
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓

「スケジュール設定」
が表示

白枠に「OFF」と表示



4 「スケジュール」を「ON」に変更します



「◀」「▶」ボタンを
押す



「ON」に変更

初期設定のまま使ってみる
(通常録画+モーション録画)

時間ごとに録画の
設定をする

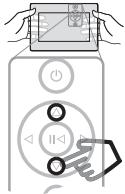
スケジュール設定	
スケジュール : ON	
00	06
01	07
02	08
03	09
04	10
05	11
06	12
07	13
08	14
09	15
10	16
11	17
12	18
13	19
14	20
15	21
16	22
17	23

※ 全て有効 録画停止

ON

設定を変更する

5 時間ごとに「録画方法」の設定を変更します



①「▲」「▼」ボタンを押す



00(午前0時)
の
録画マーク「」を
白枠で選択



②「◀」「▶」ボタンで、
録画方法を変更する



設定したい時間で①②をおこなう

00 

スケジュール設定	
スケジュール : ON	
00	06
01	07
02	08
03	09
04	10
05	11
06	12
07	13
08	14
09	15
10	16
11	17
12	18
13	19
14	20
15	21
16	22
17	23

※ 全て有効 録画停止

お知らせ

 全て有効(初期設定):通常録画で継続的に録画し、動きを検知すると、「モーション録画」に切り替わり、設定秒数録画後、「通常録画」に戻ります。

 通常録画:その時間内は全て(連続で)録画したい場合に選択します。

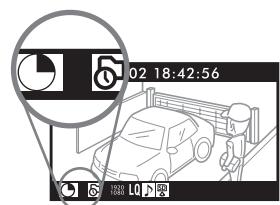
 モーション録画:動きがあったのみ録画したい場合に選択します。

 録画停止:その時間内は録画しない場合に選択します。

6 ライブ画面に戻りスケジュール録画を開始します



「メニュー/戻る」ボタン
を3回押す↓
「ライブ画面」が表示



設定を変更する

スケジュール録画設定 (モーション録画設定)



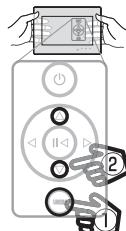
操作の前に

ライブ画面を表示

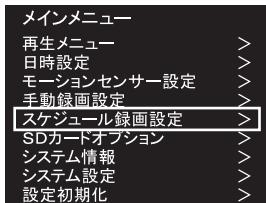
モーション録画設定

モーション録画での解像度やフレームレート、画質などの設定をします。

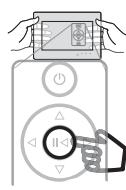
- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「スケジュール録画設定」を白枠で選択します**



- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」が表示
②「▲」「▼」ボタンを押す
↓
「スケジュール録画設定」を白枠で選択



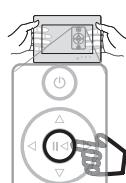
- 2 「スケジュール録画設定」の設定画面を表示します**



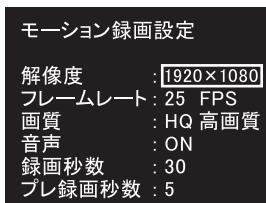
- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「スケジュール録画設定」
が表示
「モーション録画設定」
を白枠で選択



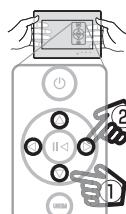
- 3 「モーション録画設定」の設定画面を表示します**



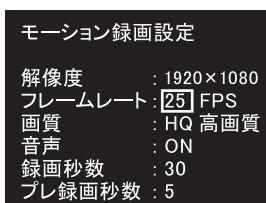
- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「モーション録画設定」
が表示



- 4 設定したい項目を選択し変更します**



- ①「▲」「▼」ボタンで
白枠を移動する
↓
②「◀」「▶」ボタンで
項目や数値を変更する
↓



設定したい項目で①②をおこなう

5 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

AHD2.0カメラを接続

モーション録画設定

解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 25 FPS
画質	: HQ 高画質
音声	: ON
録画秒数	: 30
プレ録画秒数	: 5

解像度

1920×1080(初期設定)

1280×720から選択します。

フレームレート(FPS)

01・02・04・10・15・20・25(初期値)から選択します。

画質

HQ高画質(初期設定)・LQ長時間・MQ標準から選択します。

音声

ON(初期設定)・OFFから選択します。

録画秒数

検知後、録画する秒数です。

5~90秒(5秒刻み)より選択。

プレ録画秒数

モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録します。

0(無効)~10秒(1秒刻み)より選択。

アナログ(CVBS)カメラを接続

モーション録画設定

解像度	: 960×480
フレームレート	: 30 FPS
画質	: HQ 高画質
音声	: ON
録画秒数	: 30
プレ録画秒数	: 5

解像度

960×480(初期設定)

720×480から選択します。

フレームレート(FPS)

01・02・04・10・15・20・30(初期値)から選択します。

画質

HQ高画質(初期設定)・LQ長時間・MQ標準から選択します。

音声

ON(初期設定)・OFFより選択します。

録画秒数

検知後、録画する秒数です。

5~90秒(5秒刻み)より選択。

プレ録画秒数

モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録します。

0(無効)~10秒(1秒刻み)より選択。

設定を変更する

設定を変更する

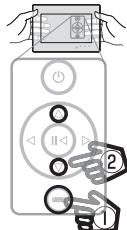
スケジュール録画設定(通常録画設定)

操作の前に
ライブ画面を表示

通常録画設定

通常録画での解像度やフレームレート、画質などの設定をします。

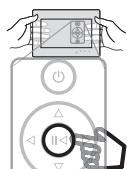
- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「スケジュール録画設定」を白枠で選択します



- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」が表示
②「▲」「▼」ボタンを押す
↓
「スケジュール録画設定」を白枠で選択

メインメニュー	>
再生メニュー	>
日時設定	>
モーションセンサー設定	>
手動録画設定	>
スケジュール録画設定	選択
SDカードオプション	>
システム情報	>
システム設定	>
設定初期化	>

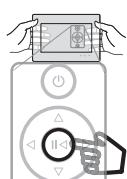
- 2 「スケジュール録画設定」の設定画面を表示します



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「スケジュール録画設定」
が表示
「通常録画設定」
を白枠で選択

スケジュール録画設定	
1920×1080 25FPS HQ	▶
1920×1080 01FPS MQ	▶
スケジュール設定	>
モーション録画設定	>
通常録画設定	

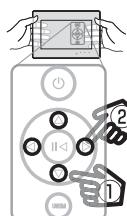
- 3 「通常録画設定」の設定画面を表示します



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「通常録画設定」
が表示

モーション録画設定	
解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 01 FPS
画質	: LQ 長時間
音声	: ON

- 4 設定したい項目を選択し変更します



- ①「▲」「▼」ボタンで
白枠を移動する
↓
②「◀」「▶」ボタンで
項目や数値を変更する
↓

モーション録画設定	
解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 01 FPS
画質	: LQ 長時間
音声	: ON

設定したい項目で①②をおこなう

5 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを3回押す



設定を終了し、「ライブ画面」が表示

AHD2.0カメラを接続

通常録画設定

解像度	: 1920×1080
フレームレート	: 01 FPS
画質	: LQ 長時間
音声	: ON

解像度

1920×1080(初期設定)

1280×720から選択します。

フレームレート(FPS)

01(初期値)・02・04・10・15・20・
25から選択します。

画質

HQ高画質・LQ長時間(初期設定)・
MQ標準から選択します。

音声

ON(初期設定)・
OFFから選択します。

アナログ(CVBS)カメラを接続

通常録画設定

解像度	: 960×480
フレームレート	: 01 FPS
画質	: LQ 長時間
音声	: ON

解像度

960×480(初期設定)

720×480から選択します。

フレームレート(FPS)

01(初期値)・02・04・10・15・20・
30から選択します。

画質

HQ高画質・LQ長時間(初期設定)・
MQ標準から選択します。

音声

ON(初期設定)・
OFFより選択します。

設定を変更する

SD カードオプション



操作の前に

ライブ画面を表示

SDカード情報の表示と録画上書き設定やフォーマットをおこないます。

SD カードオプション

ディスク容量	: 3716MB
ディスク残り容量	: 215MB
最大ファイルサイズ	: 100MB
録画上書き	: 許可
動画ファイル削除	>
SD カードフォーマット	>

ディスク容量

SDカードの全体の容量を表示します。

ディスク残り容量

SDカードの空き容量を表示します。

最大ファイルサイズ

1ファイル毎の最大容量を設定します。

3MB・10MB・20MB・50MB・100MB
(初期値)から選択します。

録画上書き

録画中にSDカードのデータ容量がいっぱいにならたら、古いデータを上書き録画するかどうかを設定します。

許可・禁止から選択します。

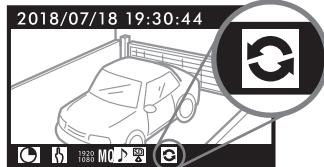
許可: 録画上書きします(初期設定)。

録画中にSDカードの空き容量がなくなった場合、古い映像から上書き消去します。

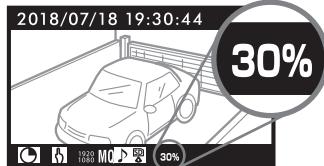
お知らせ

- 録画可能時間はSDカードの容量、録画する画質、映像変化の度合いにより変化します。
- 画面全体が動いている場合の録画は、記録するデータ量が膨大になります。
→録画時間が少なくなります。
- 録画画面のほんの一部だけ動いている場合は、記録するデータ量が少なくなります。
→録画時間が長くなります。

録画中は「C」が表示されます。



禁止: 録画中にSDカードの空き容量がなくなった場合、「SDカードフル」とメッセージを表示し録画を停止します。録画中は空き容量を表示します。



動画ファイル削除

動画ファイルのみまとめて消去したい場合の実行画面です。

SDカードフォーマット

SDカード内のすべての保存データを消去し、本機で使用可能な状態にします。写真を含むSDカード内のデータを全て消去します。

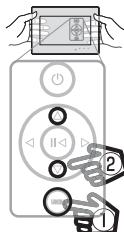
最大ファイルサイズ

手動録画や通常録画の1ファイル毎の最大容量を設定します。

録画上書き

録画中にSDカードのデータ容量がいっぱいになつたら、古いデータを上書き録画するかどうかを設定します。通常は「許可(初期設定)」に設定します。

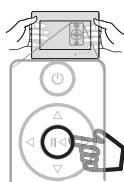
- 1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します
「SDカードオプション」を白枠で選択します



- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」が表示
②「▲」・「▼」ボタンを押す
↓
「SDカードオプション」を白枠で選択

メインメニュー	>
再生メニュー	>
日時設定	>
モーションセンサー設定	>
手動録画設定	>
スケジュール録画設定	>
SDカードオプション	> (highlighted)
システム情報	>
システム設定	>
設定初期化	>

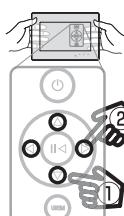
- 2 「SDカードオプション」の設定画面を表示します



- 「▶/▷/決定」ボタンを
押す ↓
「SDカードオプション」
が表示

SDカードオプション	
ディスク容量	: 3716MB
ディスク残り容量	: 215MB
最大ファイルサイズ	: 100MB
録画上書き	: 許可
動画ファイル削除	>
SDカードフォーマット	>

- 3 ①「▲」・「▼」ボタンで
白枠を移動する
②「◀」「▶」ボタンで
項目や数値を変更する



SDカードオプション	
ディスク容量	: 3716MB
ディスク残り容量	: 215MB
最大ファイルサイズ	: 100MB
録画上書き	: 許可
動画ファイル削除	>
SDカードフォーマット	>

- 4 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



- 「メニュー/戻る」ボタンを2回押す
↓
「ライブ画面」が表示

必要に応じて

必要に応じて

SD カードオプション



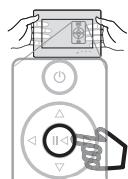
操作の前に

ライブ画面を表示

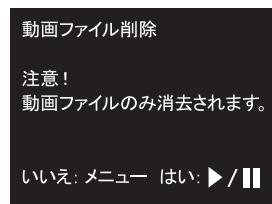
動画ファイル削除

動画ファイルのみ、まとめて消去します。日時設定の後など、その前後で時間の順序がおかしくなった場合に実行します。

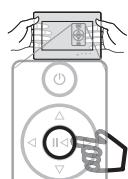
1 「SDカードオプション」から「動画ファイル削除」を表示します



「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「動画ファイル削除」
が表示



2 削除する(はい)/削除しない(いいえ)を選択します



削除する場合
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「削除中…」の表示後、
「SDカードオプション」
が表示



削除しない場合
「メニュー/戻る」ボタンを
押す ↓
「SDカードオプション」
が表示



3 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを2回押す
↓
「ライブ画面」が表示

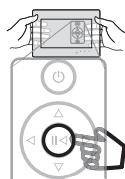
お知らせ

- SDカードの容量により動画ファイルの削除には時間がかかる場合があります。
- 不要な動画ファイルのみ消去することやファイルの部分消去はできません。

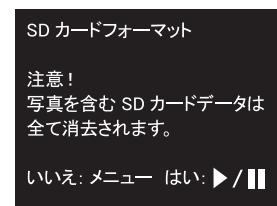
SDカードフォーマット

SDカード内のすべての保存データを消去し、本機で使用可能な状態にします。写真を含むSDカード内のデータを全て消去します。

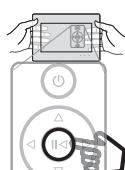
1 「SDカードオプション」から「SDカードフォーマット」を表示します



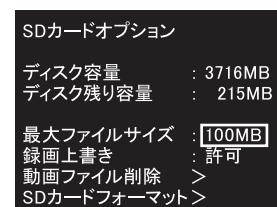
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「SDカードフォーマット」
が表示



2 フォーマットする(はい)/フォーマットしない(いいえ)を選択します



フォーマットする場合
「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「SDカードオプション」
が表示



フォーマットしない場合
「メニュー/戻る」ボタンを
押す ↓
「SDカードオプション」
が表示

3 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを2回押す
↓
「ライブ画面」が表示

必要に応じて

お知らせ

SDカード内の「DVH264」フォルダーと「JPEG」フォルダーに保存されている全てのデータが消去されます。

必要に応じて

ファームウェアを更新する

バージョンの確認

- ①「システム情報」でファームウェアのバージョンを確認します。

SDカードにファイルをコピー

- ②弊社ホームページへアクセスし、『ダウンロード』>『ソフトウェアアップデート』ページより本機の最新ファームウェアをダウンロード(圧縮ファイルを解凍)し、SDカードにコピーします。

必要に応じて

お知らせ

弊社ホームページアドレス
<http://www.corona-dengyo.co.jp/download/software.html>

SDカードを本機に入れ、更新

- ③SDカードを本体に差し込み、電源を入れると自動でアップデートを開始します。
- ④更新後、SDカード内のファームウェアを必ず削除してください。

お知らせ

ファームウェアをSDカード内に残していると再起動のたびにアップデートし初期化されるため、ファームウェアは必ず削除します。

- ⑤本機を再起動します。
- ⑥設定が初期化されるため、『日時の設定』など再設定をします。

操作の前に
ライブ画面を表示

メインメニュー

再生メニュー

日時設定

モーションセンサー設定

手動録画設定

スケジュール録画設定

SDカードオプション

システム情報

システム設定

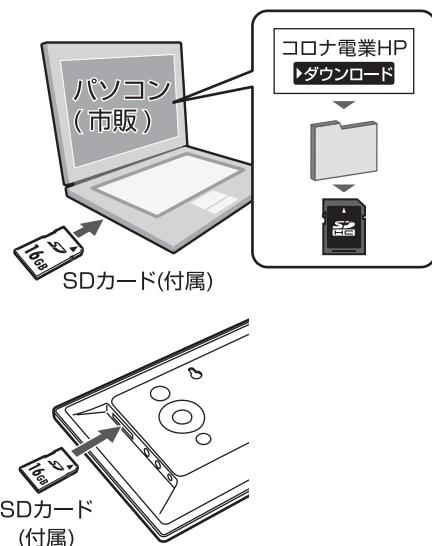
設定初期化

: V2.0006

システム情報

バージョン : V2.0006
録画上書き : 許可

1920×1080 10FPS MQ
1920×1080 25FPS HQ
1920×1080 01FPS LQ



『日時の設定をする』▶ 15

システム情報

システム情報	
バージョン	: V2.0006
録画上書き	: 許可 
 1920×1080 10FPS MQ	「手動録画」の設定内容を表示します。
 1920×1080 25FPS HQ	「モーション録画」の設定内容を表示します。
 1920×1080 01FPS LQ	「通常録画」の設定内容を表示します。

必要に応じて

必要に応じて

システム設定

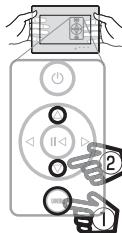


操作の前に

ライブ画面を表示

画面の明るさやコントラスト、警告音などのシステムの設定をします。

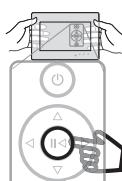
1 「ライブ画面」から「メインメニュー」を表示します 「システム設定」を白枠で選択します



- ①「メニュー/戻る」ボタン
を押す ↓
「メインメニュー」
が表示
- ②「▲」「▼」ボタン
を押す ↓
「システム設定」
を白枠で選択

メインメニュー	>
再生メニュー	>
日時設定	>
モーションセンサー設定	>
手動録画設定	>
スケジュール録画設定	>
SDカードオプション	>
システム情報	>
システム設定	>
設定初期化	>

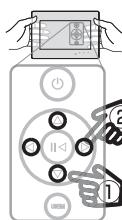
2 「システム設定」の設定画面を表示します



- 「▶/■/決定」ボタンを
押す ↓
「システム設定」が表示

システム設定	
言語	: 日本語
明るさ	: 5
コントラスト	: 5
色の濃さ	: 5
色合い	: 5
スライドショー間隔	: 3秒
スライドショー効果	: フード
警告音	: チャイム

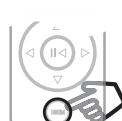
3 設定したい項目を選択し変更します



- ①「▲」「▼」ボタンで
白枠を移動する
↓
- ②「◀」「▶」ボタンで
項目や数値を変更する
↓

設定したい項目で①②をおこなう

4 「ライブ画面」に戻り設定を終了します



「メニュー/戻る」ボタンを2回押す
↓

設定を終了し、「ライブ画面」が表示

言語

言語を設定します。

日本語(初期設定)・ENGLISHより選択します。

明るさ

液晶画面の明るさの設定します。

0～10より選択します(初期値:5)。

コントラスト

液晶画面のコントラストの設定をします。

0～10より選択します(初期値:5)。

色の濃さ

液晶画面の色の濃さの設定をします。

0～10より選択します(初期値:5)。

色合い

液晶画面の色合いの設定をします。

0～10より選択します(初期値:5)。

スライドショー間隔

スライドショーの間隔を設定します。

3秒(初期設定)・7秒・15秒より選択します。

リモコン及び本体のボタンで随時変更が可能です。

スライドショー効果

スライドショーの効果を設定します。

ノーマル・ワイプ・フェード(初期設定)より選択します。

リモコン及び本体のボタンで随時変更が可能です。

警告音

モーション検知時に鳴る警告音を設定します。

無し・チャイム(初期設定)・ベル・鳥のさえずりより選択します。

お知らせ

モニターの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いの設定は録画映像にも反映されます。

必要に応じて

工場出荷時の設定に戻す



操作の前に

ライブ画面を表示

設定初期化

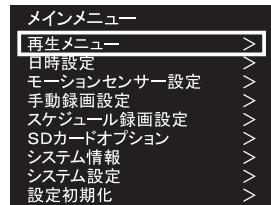
本機の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。

1



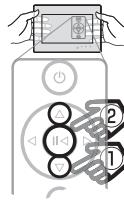
「メニュー/戻る」ボタン
を押す

「メインメニュー」が表示

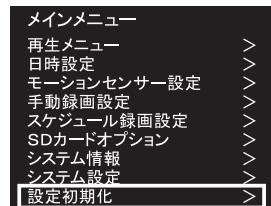


2

「設定初期化」を選択します

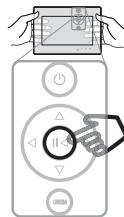


①「▲」「▼」ボタンを押す
↓
②「▶/■/決定」ボタンを
押す
「設定初期化」が表示

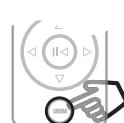
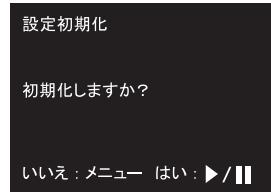


3

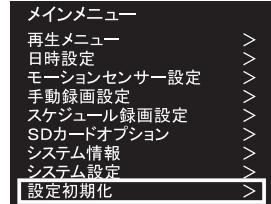
初期化する(はい)/初期化しない(いいえ)を選択します



初期化する場合
「▶/■/決定」ボタンを
押す
↓
「メインメニュー」が表示



初期化しない場合
「メニュー/戻る」ボタンを
押す
↓
「メインメニュー」が表示



4

ライブ画面に戻る



「メニュー/戻る」ボタン
を押す
↓
「ライブ画面」が表示

お知らせ

- 動作が不安定な時は初期化をすることで正常に戻る場合があります。
- SDカードに保存されたデータ(動画ファイルやスライドショー用の写真データ)は消去されません。SDカードに保存されたデータを消去するにはSDカードのフォーマットをおこなってください。**SDカードを初期化(フォーマット)する** ▶ 61
- カメラの設定は初期化できません(UTC制御可能なカメラ側への影響はありません)。カメラの設定を初期化するには『カメラ設定(UTC)モード』でおこないます。**カメラ設定(UTC)モード** ▶ 28

必要に応じて

主な工場出荷時設定

メインメニュー	第一階層	第二階層	設定値(アナログカメラ接続時)
モーションセンサー設定	エリア設定	モード	全エリア検知
	感度設定		目盛左から5本の位置
手動録画設定	解像度		1920×1080 (960×480)
	フレームレート		10fps
	画質		MQ 標準
	音声		ON
スケジュール録画設定	スケジュール設定		スケジュール OFF 全て有効
	モーション録画設定	解像度	1920×1080 (960×480)
		フレームレート	25fps (30fps)
		画質	HQ 高画質
		音声	ON
	通常録画設定	録画秒数	30秒
		プレ録画秒数	5秒
		解像度	1920×1080 (960×480)
		フレームレート	1fps
		画質	LQ 長時間
SDカードオプション	音声		ON
	最大ファイルサイズ		100MB
システム設定	録画上書		許可
	言語		日本語
	明るさ		5
	コントラスト		5
	色の濃さ		5
	色合い		5
	スライドショー 間隔		3秒
	スライドショー 効果		フェード
	警告音		チャイム

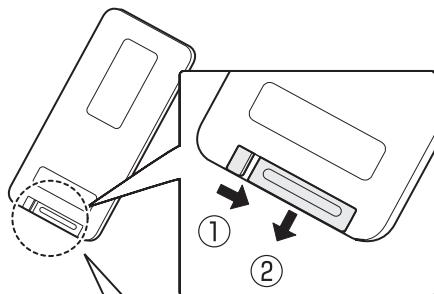
カッコ内の値はアナログ(CVBS)カメラ接続時のものです。
カッコの記載の無いものはAHDカメラとアナログカメラ共通設定です。

必要に応じて

リモコンの電池交換

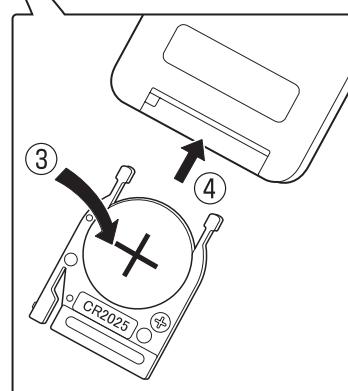
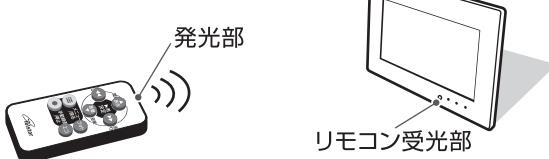
リモコン操作がしにくく感じたら、新しいボタン電池(CR2025)と交換してください。

- ① つめを右によせる。
- ② 電池ケースを引き出し、電池を取りはずす。
- ③ 新しい電池を+記号を上にして入れる。
- ④ 電池ケースをリモコンに、カチッとき音がするまで押し込む。



リモコンの動作確認

電池交換後にリモコンが動作するか、確認します。リモコンの先端(発光部)をリモコン受光部に向けて操作します。



必要に応じて

お知らせ

- リモコンの受光部や発光部をシールなどで隠さないでください。

注意事項



- 使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す

そのまま放置すると液漏れや発熱、破裂などの原因になります。



- 電池は誤った使い方をしない

間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、充電したり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。



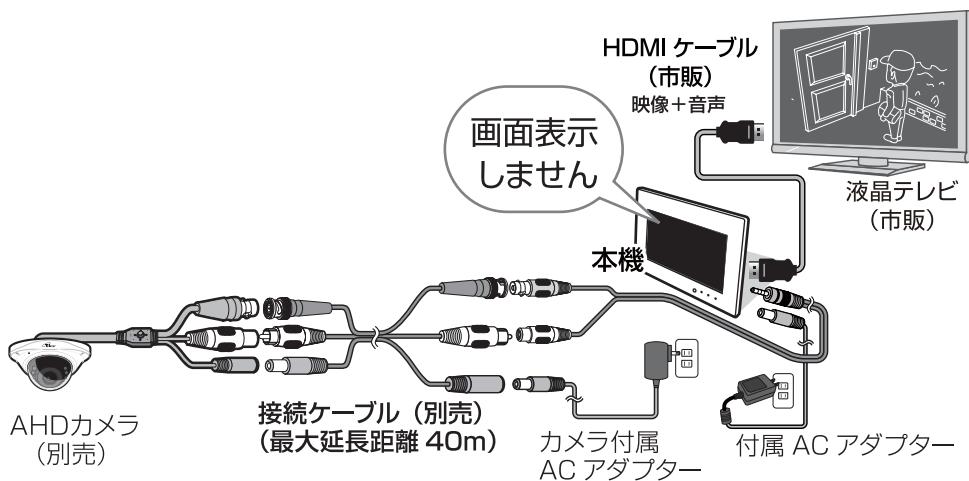
- リモコンを長期間使用しないときは、電池をリモコンから抜く

破裂や液漏れのおそれがあります。

必要に応じて

本機を液晶テレビ(市販)と接続する

HDMIケーブル(市販)を使用し液晶テレビ(市販)と接続すると、液晶テレビの大きな画面で映像を表示することができます。
このとき、本機の画面は表示されなくなります。



お知らせ

- 仕様により液晶テレビと本機の両方に画面を表示することはできません。
- 本機のHDMI出力端子にケーブルを接続すると、本機の画面表示はオフになります。

ご注意

次の映像は液晶テレビに表示されません。

- アナログ(CVBS)カメラと接続した場合のライブ映像および録画されたファイルの再生映像
- フォトモード(スライドショー)の映像

スライドショーの準備

画像データを取り込む

- ①スライドショーで表示したい
画像データを用意します。

お知らせ

表示可能な画像データのサイズは最大
6000×5000、7MB程度まで、推奨
画像サイズは800×480程度です。

- ②SDカードをパソコンなどに接
続します。SDカードの「JPEG」
フォルダーに画像データをコピ
ーします。有効なファイル形式
はJPEGのみです。

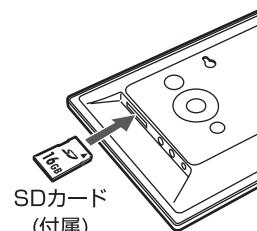
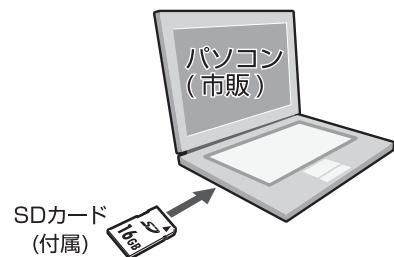
お知らせ

SDカードを最初に入れた時、自動的に
空の「JPEG」フォルダーがつくれます。

- ③SDカードを本体に挿し、電源を
入れると自動的に本体の内蔵メ
モリーに画像データが読み込
まれ、スライドショーが始まり
ます。

お知らせ

- 表示される画像の順番はSDカードに
コピーされた順で再生されます。
- 画像データのファイル名は日本語の
表記が可能です。
- JPEG以外の画像データは自動的に
無視されます。



ご注意

電源を切ると内蔵メモリーの画像データは消去されます。電源を入れるたびに読み込み作業をするため、読み込む画像データの容量が大きくなると読み込みに時間がかかり、起動時間も遅くなります。

録画時間の目安

フレームレートや画質を変更して連続録画した場合の参考値(目安)です。録画する内容により大幅に変わります。録画画質やフレームレートを下げるときと録画時間を増やせます。

お知らせ

- 撮影対象によってはファイルサイズが大幅に変動するため録画時間は表より短くなる場合があります。
- 容量がいっぱいになると古いファイルを削除して録画を繰り返す、上書き録画をします(工場出荷時設定)。

SDHCカード使用時

(単位:時間)

記憶 容量	解像度	1920×1080			1280×720			960×480		
		フレームレート	25	10	4	30	10	4	30	10
4GB	高画質	2	3	5	3	5	9	5	9	15
	標準	3	5	8	4	9	14	8	17	24
	長時間	5	8	10	8	15	23	16	28	45
16GB	高画質	7	13	19	11	22	38	21	38	61
	標準	12	22	32	18	36	58	35	71	97
	長時間	20	34	42	35	61	95	65	111	183
32GB	高画質	15	27	39	23	45	77	43	76	122
	標準	25	44	65	37	72	117	70	142	195
	長時間	41	68	84	70	122	191	131	223	367

SDXCカード使用時

(単位:時間)

記憶 容量	解像度	1920×1080			1280×720			960×480		
		フレームレート	25	10	4	30	10	4	30	10
64GB	高画質	31	55	79	46	91	155	87	153	245
	標準	50	89	131	74	144	234	141	284	390
	長時間	82	137	168	140	245	383	263	447	735
256GB	高画質	124	220	316	184	364	620	348	612	980
	標準	200	356	524	296	576	936	564	1136	1560
	長時間	328	548	672	560	980	1532	1052	1788	2940

ご注意

上記の時間は参考値で、値を保証するものではありません。

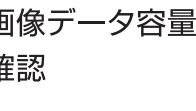
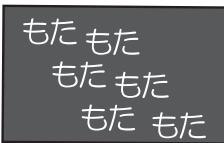
型名	DVF-7AHD
録画機能	映像圧縮方式 H.264 AVI File Format
	音声圧縮方式 G.711/32kbps
	録画ファイル形式 AVI
	録画解像度 1920×1080/1280×720
	フレームレート 1、2、4、10、15、20、25(ただし1280×720設定時は30)
	録画画質設定 3段階 (HQ高画質/MQ標準/LQ長時間)
	録画モード 手動録画、スケジュール録画(モーション録画、通常録画)
	モーションセンサー設定 エリア、感度調整可能
	録画メディア SD/SDHC/SDXCカード(1GB~256GB)
写真表示機能	再生機能 再生/早送り・早戻し(×2、×4、×8、×16、×32)/一時停止/コマ送り・秒戻し(一時停止中)
	対応画像形式 JPEG(プログレッシブJPEG除く)※動画は表示できません
	対応可能画像サイズ 6000x5000以下、さらに7MB以下の画像
	スライドショー機能 ノーマル、ワイプ、フェード
	切替時間設定 3秒、7秒、15秒
表示部	画像再生機能 送り/戻り/スライドショー/スライドショー停止
	再生可能な写真枚数 90枚まで ※90枚で警告が出ます
	液晶 7インチTFTワイド液晶(16:9)
	解像度 800×480 pixel
	コントラスト比 500:1
外部接続	輝度 250cd/m ²
	映像/音声入力 BNCジャック(映像)×1/RCAジャック(音声)×1
	映像/音声出力 HDMI(TypeA)×1、内蔵スピーカー
リモコン	メモリー SD/SDHC/SDXCカードスロット×1
	リモコン 有り(ボタン電池 CR2025)
	電源 ACアダプターで供給 DC5V
	消費電力 最大6W(エコモード時は約3.3W)
動作環境	動作環境 温度5~40°C 湿度30~80%(結露なきこと)
	外形寸法 約204×143×23(スタンド含む場合は119)mm
	質量 約360g
同梱品	レコーダー本体、スタンド、リモコン、ACアダプター(ケーブル長約1.5m)、
	映像/音声入力ケーブル(ケーブル長約1.5m)、SDカード(16GB)、取扱説明書(保証書含む)

製品改良のために、予告なく外観/仕様などを変更することがあります。

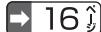
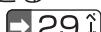
故障かな？と思ったら

症状は？	ココを確認！	原因と対処方法
画面が真っ暗 	電源ランプがついている場合 	<p>原因 その① エコモードになっているため ⇒「エコ」ボタンを押す ➡ 25 ⌂</p> <p>原因 その② HDMI出力端子にケーブルが接続されているため ⇒HDMI出力端子からケーブルを抜く ※HDMI出力端子にケーブルが接続されている場合は、本体モニターは非表示になります。 ➡ 70 ⌂</p>
困ったら		<p>原因 その③ カメラ映像が届いていないため ⇒カメラの電源や配線を確認 カメラの配線やACアダプターがコンセントに確実に接続されているかご確認ください。 ※端子の抜き差しをすることで改善する場合があります。</p>
	原因①～②を試して解決しない場合	<p>原因 その④ SDカードの不具合のため ⇒SDカードを初期化または交換 ※SDカードをPCで初期化(フォーマット)いただくな、別のSDカードをご使用ください。</p>

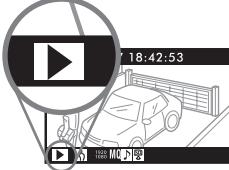
故障かな？と思ったら

症状は？	ここを確認！	原因と対処方法
画面が真っ暗 	電源ランプが消えている場合 	<p>原因 電源が切れているため ⇒電源を入れる 本体の電源ボタン「」を「電源表示LED(緑)」が点灯するまで、長押し(約3秒間)します。 ※ACアダプターがコンセントに確実に接続されているかご確認ください。</p> <p style="text-align: right;">➡ 13 ⌂</p>
起動に時間が“少し”かかる 	SDカードの容量や仕様を確認 	<p>原因 その① SDカードの容量や仕様によっては起動に時間がかかるため ⇒SDカードを交換 故障ではありません。</p> <p>原因 その② SDカードの画像データ容量が大きくなると読み込みに時間がかかり、起動時間も遅くなるため ⇒画像データ容量を軽くする 故障ではありません。 ➡ 71 ⌂</p>
起動に時間が“かなり”かかる 	SDカードをパソコンに入れ、データが読めるかを確認 	<p>原因 SDカードの不具合のため ⇒SDカードを初期化または交換 ※SDカードをPCで初期化(フォーマット)いただくな、別のSDカードをご使用ください。</p>

故障かな？と思ったら

症状は？	ここを確認！	原因と対処方法
メニュー画面が表示できない	録画マーク「  」が表示	<p>原因 手動録画で録画中のため ⇒「手動録画/停止」ボタンを押す</p> <p>※手動録画中はメニュー画面は表示できません。</p> 
日時などの情報が表示できない		<p>原因 「表示」ボタンを押したため ⇒「表示」ボタンを押す</p> <p>※ライブ画面と再生画面の表示を「表示」ボタンで隠すことができます。</p>
カメラのメニューが表示された	「上下左右」ボタンでカメラの設定を操作できる	<p>原因 表示ボタンを押した後、 「メニュー」ボタンを押したため ⇒カメラの設定を終了させる</p> 
カメラのメニューが消せない	カメラの設定が「上下左右」ボタンで操作できない	<p>原因 カメラ設定(UTC)モードでカメラの設定を終わらせないまま、 ライブ画面に戻ったため ⇒カメラ設定(UTC)モードに入り カメラの設定を終了させる</p> 

故障かな？と思ったら

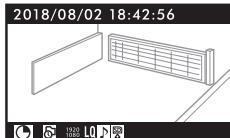
症状は？	ココを確認！	原因と対処方法
手動録画ができない	「▶」が表示 (再生中) 	<p>原因 その① 再生中のため ⇒「メニュー/戻る」ボタンを押し、 再生を停止(ライブ画面に)し、 「手動録画」ボタンを押す ※再生(画面左下に「▶」が表示)中 は手動録画はできません。</p> <p style="text-align: right;">→ 18 ⇩</p>
録画上書き設定を確認		<p>原因 その② 上書き禁止設定になっているため ⇒「SDカードオプション」の 「録画上書き」が「禁止」を 「許可」にする</p> <p style="text-align: right;">→ 58 ⇩</p>
SDカードの側面スイッチの向きを確認		<p>原因 その③ SDカードの側面のスイッチが 「LOCK」側になっているため ⇒スイッチを「解除側」にする</p> <p style="text-align: right;">→ 10 ⇩</p>
録画をしたのに録画されていない時間がある	動画ファイルを再生	<p>原因 録画していない間に動画ファイルを再生したことによる録画停止 であり、故障ではありません。</p> <p>※本機は再生中と再生メニュー表示中は録画を停止します。</p> <p>※重要な録画をしている時は不要な操作をしないでください。</p>

困ったら

故障かな？と思ったら

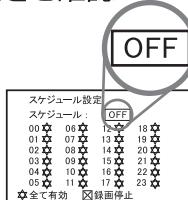
症状は？

スケジュール録画
ができない

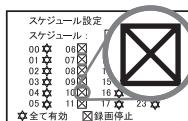


ここを確認！

スケジュール録画
設定を確認



スケジュール録画
設定の時間帯の
録画マークを確認

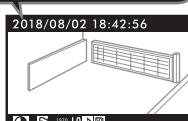


録画マーク「」が
表示



表示時間を確認

2018/08/02 18:42:56



原因と対処方法

原因 その①

「スケジュール録画設定」>
「スケジュール設定」>「スケジュー
ル:OFF」になっているため
⇒「スケジュール:ON」に設定する
※初期設定では未設定です。

▶ 52 ↴

原因 その②

「スケジュール設定」で録画がで
きない時間帯の録画マークが
「×録画停止」になっているため
⇒「※全て有効」にする

▶ 52 ↴

原因 その③

手動録画で録画中のため
⇒「手動録画/停止」ボタンを押し、
手動録画を停止
※スケジュール録画の設定中に手動
録画を開始すると手動録画が優
先されます。

▶ 16 ↴

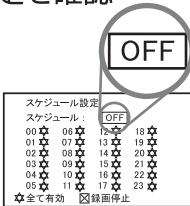
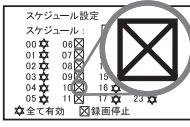
原因 その④

時間がずれているため
⇒「日時設定」を設定する

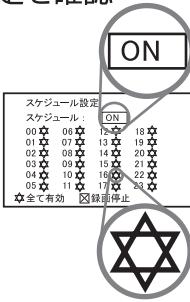
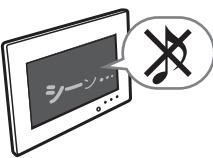
▶ 38 ↴

※長時間使用しなかった場合、日時
が初期値に戻る場合があります。
※本機には自動時刻合わせ機能は
ありません。定期的に日時設定で
時刻合わせをおすすめします。

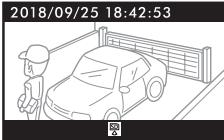
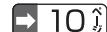
故障かな？と思ったら

症状は？	ここを確認！	原因と対処方法
モーション録画がうまく作動しない	スケジュール録画設定を確認 	<p>原因 その① 「スケジュール録画設定」>「スケジュール設定」>「スケジュール:OFF」になっているため ⇒「スケジュール:ON」に設定する ※初期設定では未設定です。</p> <p style="text-align: right;">➡ 52 ⇩</p>
スケジュール録画設定の時間帯の録画マークを確認	スケジュール録画設定の時間帯の録画マークを確認 	<p>原因 その② 「スケジュール設定」で録画されない時間帯の録画マークが「☒ 録画停止」になっているため ⇒「☒ 全て有効」または「☒ モーション録画」にする</p> <p style="text-align: right;">➡ 52 ⇩</p>
頻繁に動きに反応する、または動きに反応しない		<p>原因 その③ 動きに頻繁に反応する場合はお使いの環境では設定感度が高いことが考えられ、動きに反応しない場合は設定感度が低いことが考えられる ⇒「メインメニュー」> 「モーションセンサー設定」>「感度設定」で目的の検知レベルを確かめ、設定する</p> <p style="text-align: right;">➡ 46 ⇩</p>

故障かな？と思ったら

症状は？	ここを確認！	原因と対処方法
プレ録画ができない	スケジュール録画設定を確認 	<p>原因 「スケジュール録画設定」>「スケジュール設定」>「スケジュール:ON」で「✖️全て有効」になっているため ⇒「スケジュール:ON」で、 プレ録画をする時間帯のアイコンを「🎥モーション録画」にする ※「✖️全て有効」では作動しません。 ※プレ録画は「🎥 モーション録画」のみで機能します。 → 52</p>
ライブ音声や、警告音がない	現在のモードを確認 	<p>原因 その① エコモードになっているため ⇒ライブ画面かフォトモードに切り替える</p>
	現在の設定を確認	<p>原因 その② 「警告音」の設定が「無し」になっているため ⇒警告音:「メインメニュー」>「システム設定」>「警告音」>「チャイム」、「ベル」、「鳥のさえずり」から選択する</p>
		<p>原因 その③ ライブ画面でライブ音声の「音量」の設定が「消音」になっているため ⇒ライブ画面で「音量」ボタンを押す</p>

故障かな？と思ったら

症状は？	ココを確認！	原因と対処方法
エラーメッセージ が表示される	「SDカードが準備 できていません」 と表示 	原因 SDカードが入っていないため ⇒SDカードが正しく入っているか 確認する
	「SDカードが読み 込めません」 と表示	原因 SDカードの側面のスイッチが 「LOCK」側になっているため ⇒スイッチを「解除側」にする ※SDカードのスイッチを「LOCK」 にすると書き込みができなくなり ます。 
	「写真データが容量 を越えています」 と表示	原因 写真データの容量が7MB以上か、 ファイル数が90個を越えている ため ⇒写真データの容量を減らすか、 ファイル数を減らす
表示がおかしい、 誤動作がおきる	表示・操作で 誤動作が起きた 場合	⇒一度電源を切り再び電源を入 れる ※再起動で誤動作が解消される場合 があります。

故障かな？と思ったら

症状は？	ココを確認！	原因と対処方法
リモコンが 反応しない	保護シートを確認 電池を確認	<p>原因 その① 保護シートがはさまっているため ⇒保護シートを引き抜く  11</p> <p>原因 その② 電池が切れたか、入っていないため ⇒電池を交換する  69 ※付属電池はテスト用です。</p>
	本体のリモコン受光部を確認	<p>原因 その③ 本体のリモコン受光部にリモコンの信号がとどいていないため ⇒リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作する ⇒リモコンの受光部をシールなどでふさがない</p>
	一部のボタンのみ 反応しない場合	<p>原因 その④ リモコンボタン部分の接触不良ため ⇒新しいリモコンを購入する ※お買い上げいただいたお店でご注文いただくな、弊社より直接購入可能です。</p>

故障かな？と思ったら

症状は？	ココを確認！	原因と対処方法
パソコンで 動画ファイルが 再生できない	再生ソフトを確認 	<p>一般的な再生ソフト「メディアプレーヤー」の古いバージョンでは再生できない場合があるため ⇒最新版をダウンロードし、パソコンにインストールする</p> <p>※メディアプレーヤー12以降推奨。</p> <p>※映像と音声はAVIファイル形式でSDカードに書き込まれます。</p>
SDカードが認識 されない	 	<p>旧タイプのパソコンやカードリーダーでは、SDカードを認識できない場合があるため ⇒お手持ちの機器の仕様を確認する</p>

Q スケジュール録画の設定をしたら、検知のたびに音が鳴るのですが。

A 音量を調節したい場合は、リモコンの「音量▼」ボタンまたは本体の「▼」ボタンで調節をします。 ➡ 22 ⌂

昼間はライブ画面やフォトモードで検知すると音でお知らせ、夜間はエコモードで音を鳴らさないといった使い方ができます。

ライブ画面で「エコ」ボタンを押すと、エコモードに切替ります。

Q 別の液晶テレビに映したいのですが外部出力はできますか？

A HDMI ケーブル（市販）で液晶テレビとつなげ、映像を映すことが可能ですが（その際は本機の液晶画面は非表示になります）。

ただし、アナログ (CVBS) カメラ接続時のライブ映像および再生映像、フォトモード（スライドショー）は表示されません。 ➡ 70 ⌂

Q 液晶テレビでSDカードに記録した映像を再生できますか？

A 液晶テレビに SD カードスロットが搭載されていても、本機とファイル形式が違うため再生することはできません。

Q 使用できる SD カードの種類やメーカーは？

**A SDXC (64GB/128GB/256GB まで) と SDHC (4GB/8GB/16GB/32GB) カードが使用可能です。
サンディスク社製を推奨します。**

Q SD カードを入れているのに「SD カードが読み込みません」とエラーメッセージができる。

A SD カードの書き込みロックのスイッチが解除側になっていることを確認してください。

Q 設定をしたのに録画されない時間がある

**A 『録画されない時間』に動画ファイルを再生しませんでしたか？
再生中と再生メニュー表示中は録画を停止します。** ➡ 18 ⌂

Q 知らぬうちに電源が切れていきました。

A 本体やコンセントからACアダプター抜けていないかを確認してください。

再度電源ボタンを3秒間長押し本体を起動してください。

Q 画面が真っ暗で映像がみれない。

A 「故障かな?と思ったら」をご確認ください。

▶ 74

Q 表示がおかしい。誤動作がおきる。

A 表示・操作で誤動作が起きた場合は、一度電源を切って下さい。

再び電源を入れますと誤動作が解消される場合があります。

A SDカードが不具合を起こしている場合が考えられます。SD▶ 61
ドの初期化をしてください。

A SDカードは消耗品です。新しいSDカードに交換してください。

Q 警告音、ライブ音声がでません。

A エコモード中は警告音、ライブ音声はでません。

ライブ画面かフォトモードに切り替えてください。

A 音量が消音になっていないか確認してください。

A 設定で音を消すようになっていないか確認してください。

警告音：「システム設定」→「警告音」→「無し」

ライブ音：「各録画設定」→「音声」→「OFF」

▶ 65

Q 表示切替が遅く感じる。

A SDカードの記録データが増えると、各項目の表示切替が遅くなる場合があります。

Q 時刻合わせを自動で合わせる機能はありますか？

A 該当する機能はありません。定期的に時刻合わせをおすすめします。

Q パスワードを設定できますか？

A 該当する機能はありません。

Q リモコンなど付属品をなくしてしまったのですが購入は可能ですか？

A 付属品の購入は可能です。お買い上げいただいた販売店にご注文
いただぐか、コロナ電業のホームページから購入可能です。

Q 液晶画面を何で拭けばよいですか？

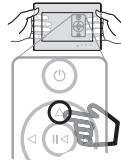
A 柔らかい布（クリーニングクロス）などで拭いてください。
ティッシュで拭くのは画面を傷つけてしまう原因となります。

困ったら

カメラのメニューが消えない時

誤ってカメラ設定(UTC)モードに入ってしまったか、
カメラのメニューを終わらせないままライブ画面に
戻った場合の状態です。もう一度カメラ設定(UTC)
モードに入り、カメラのメニューを終了させます。

1



「表示」ボタンを押す



時刻や録画状態が
非表示



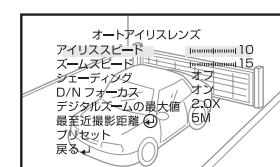
2



「メニュー」ボタンを押す



カメラ設定(UTC)モード
に入る



3

カメラのメニューの設定を終了します



「上▲・下▼」ボタンで
「終了」や「戻る」を選択
「▶/■/決定」ボタンを
押す

カメラの取扱説明書参考



カメラのメニューを終了させます

4

「ライブ画面」に戻ります



「メニュー/戻る」ボタン
を押す
↓
「ライブ画面」が表示

